

取扱説明書

イオンガーデンV

家庭用電解水素水生成器

Ion-Garden **VH**
CI-5000H

本製品は医療用物質生成器として認可を受けており、以下の効果が認められています

電解水素水(陰極水)

飲用して慢性下痢・消化不良・胃腸内異常発酵・制酸・胃酸過多に有効

酸性水(陽極水)

弱酸性のアストリンゼント(化粧水)として美容に用いられる

本書では、JIS T 2004 (家庭用電解水生成器) で使用される用語「アルカリ性電解水」のことを「電解水素水」、「酸性電解水」のことを「酸性水」と表記しています。

保証書別添付

このたびはお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 本書には、ご使用になる上で大切なことが書かれておりますので使用前に必ずお読みの上正しくお使いください。
- 正しく設置されなかった場合や、正しく使用されなかった場合の製品の故障、事故については当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- お読みになった後はお使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

もくじ

1 安全上のご注意

必ずお守りください 1～5

2 各部のなまえ

本体 6
切替コック 7
付属品 8
操作部／表示部 9

3 設置と準備

本体の設置 10
切替コックの取付 11～12
ホースの接続 13～14
浄水カートリッジの通水洗浄 15
pH測定 16

4 作り方

電解水素水／浄水／酸性水 17
カルシウムの添加方法 18
pHの微調整 19
表示切替 19
衛生水の作り方 20～23

5 浄水カートリッジの交換

交換のお知らせサイン 24
寿命により交換する場合 25
寿命ではないが交換する場合 26

6 設定

設定一覧表 27
時刻設定 28
積算使用量の確認 (水量/期間) 28
通水音の変更 29
pH表示の補正 29～30
電流表示 30
pH一定設定 31
夜間照明設定 31
自動洗浄開始時刻 32
浄水カートリッジ使用期間設定 32
浄水カートリッジ使用量設定 33
設定初期化 33
音量調節 33

7 お手入れ

自動洗浄 34
手動洗浄 34
切替コックの洗浄 35
日常のお手入れ 36
長期間使用しないとき 36

8 便利機能

キッチンタイマー 36

9 こんなとき

エラー表示 37
故障かなと思ったら 38～39

10 アフターサービス

保証・修理依頼 40

11 仕様

仕様 41

1

安全上のご注意 (必ずお守りください)

(この項は必ず最初にお読みください)

■ご使用前にこの項をお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」に区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。



警告

この表示は死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

この表示は傷害または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

お読みになった後はお使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

なお、図記号には次のような意味があります。(以下は図記号の一例です)



：このような図記号は気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。



：このような図記号はしてはいけない「禁止」の内容です。



：このような図記号は必ず実行していただく「強制」の内容です。

設置の前に



警告

- 本製品は家庭用電解水素水生成器です。
電解水素水、浄水、酸性水、衛生水の生成以外の用途には使用しないでください。
- 本製品は水道水など飲用に適合した水を対象としております。
飲用不適な水は使用しないでください。
体調を損なう原因になります。



注意

- 本製品は一般のご家庭でご使用ください。
- 本製品は日本国内でご使用ください。



- 次のような水は通水しないでください。
 - ・にごりのひどい水
 - ・塩分の多い水
 - ・赤サビの多い水
 - ・その他飲用不適な水
(井戸水、くみ置きの水などは、飲用に不適な場合がありますのでご注意ください)
- 硬度の高い水(200 mg/L以上)をご使用の場合は、浄水カートリッジやその他の製品内部が詰まりやすくなる場合がありますのでご注意ください。
(処置:浄水カートリッジの交換、電解槽の洗浄)
- 金魚や熱帯魚など、魚類の飼育水として使用しないでください。
環境が変わり死ぬことがあります。



1

安全上のご注意（必ずお守りください）

設置について

⚠ 注意

- 次のような場所には設置しないでください。
故障の原因になります。
- ・ 火を使用しているところ
- ・ 直射日光があたるところ
- ・ 凍結のおそれがあるところ
- ・ 湿気やほこりが多いところ
- ・ 水がかかりやすいところ
- ・ 腐食性ガスが発生するところ
- ・ 電子レンジの近くなど、誤作動の影響を受けるおそれがあるところ



- 本体は水平に設置してください。
ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には設置しないでください。
倒れたり落下したりして、けがまたは故障の原因になります。
- お湯専用の蛇口には接続しないでください。故障の原因になります。
- 電源プラグ、ホース類などは容易に離脱しないように、正しく確実に接続してください。
- 切替えコックとホースは本製品付属の新品を使用してください。製品の買い換え時は、今まで使用していた切替えコックとホースが使用可能な場合でも再使用せずに新品を使用してください。
- 設置後は操作スイッチなどが正常に動作するか確認してください。



本製品の取り扱いについて

⚠ 警告

- 故障した場合など、どのような理由があっても自身での改造・分解・修理は絶対に行わないでください。
火災や故障、けがの原因になります。
その結果、生じた事故については一切責任を負いませんのでご了承ください。
本製品は医療機器です。修理許可を取得した指定の作業所でしか修理できません。



- めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。



- 本体を誤って水中に落としたときは感電を避けるため、以下の手順で対処してください。
- ① 電源プラグをコンセントから抜く
- ② 本体を引き上げる
- ③ 販売店に修理を依頼する



本製品の取り扱いについて

⚠ 注意

- 本体の上に物を置かないでください。
故障または事故の原因になります。
- 本製品を落としたり強い衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因になります。
- 表示された電源電圧(AC100V)以外の電圧で使用しないでください。
火災、故障、感電の原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、束ねたまま使用しないでください。
また、重い物を載せたり、挟み込んだりすると、破損し、火災、感電の原因になります。
- 電源は他の機器とタコ足配線しないでください。
発熱し、火災の原因になります。



- 電源コードや電源プラグが傷んでいるまたはコンセントの差し込みがゆるいときは
コンセントから電源コードを抜き、使用を中止してください。
(感電、ショート、発火の原因になります)
- 電源コードをステーブルなどで固定しないでください。
(電源コードが破損し、感電、火災の原因になります)



- 電源コードをコンセントに抜き差しする場合は必ず電源プラグを持って行ってください。
コードを引っ張るとコードが傷み、火災、感電の原因になります。



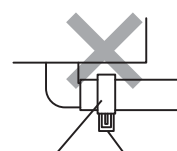
- 長期間使用しないときは、本体を洗浄後、乾燥させてから湿気のないところに
保管してください。
- 長期間使用しなかった後、再使用する場合は販売店に相談してください。
再使用のときは、正常かつ安全に作動することを確認してください。



- 本製品に40℃以上の温水を通水しないでください。
故障の原因になります。



- ホースが折れ曲がったり、ねじれたりしないようにしてください。
水の出口をふさがらないでください。
先止め式水栓を取り付けたまま製品を使用しないでください。
水の出口をホースなどで延長しないでください。
水漏れや故障の原因になります。



ホースバンド つまみ



- ホースバンドの取り付けには気をつけてください。
手による脱着、または製品の底に手を回して持ち上げるときなど、手を傷つけることがあります。また、ホースバンドのつまみ部分を下に向けると、設置面に傷がつくことがあります。

ご使用について

⚠ 警告

- 電解水素水を飲用するときは次のことに注意してください。
- ・ 医薬品を電解水素水で飲用しない。
- ・ じん不全、カリウム排泄障害などのじん疾患の人は飲用しないでください。



- 次のような方は電解水素水を飲む前に医師に相談してください。
- ・ 持病のある方、または身体の弱っている方
- ・ じん臓に障害のある方
- ・ 医師の治療を受けている方
- ・ 身体に異常を感じている方
- 次のときは飲用を中止し、医師に相談してください。
- ・ 電解水素水を飲用して身体に異常を感じたとき。
- ・ 電解水素水を飲用し続けても症状に改善がみられないとき。
- 次の方は酸性水を使用する前に医師に相談してください。
- ・ 肌の弱い方
- ・ アレルギー体質の方



⚠ 注意

- 毎日使い始めの水は、蛇口を全開にして約40秒間通水してから使用してください。
- 数日間以上使わなかったときは、蛇口を全開にして約1分間通水してから使用してください。
- 浄水カートリッジには活性炭を使用していますので、生成水に微粉末が出る場合があります。
- ご使用前には次に示す動作の確認をお願いします。
- ・ 表示部が時計表示になっている
- ・ 衛生水以外の水質選択スイッチを押すと、選択したスイッチのランプが点灯する



- 酸性水を使用して肌に異常を感じたときは速やかに使用を中止し、医師に相談してください。
- 次のような水は飲まないでください。体調を損なうことがあります。
- ・ 酸性水、衛生水
- ・ pH測定液が入った水
- ・ 排水用ホースから出る水
- ・ 通水洗浄中に吐水される水
- 電解水素水を飲用する場合は適値をpH9.5とし、pH10より低いpH値で飲用してください。pH10以上の水は飲用しないでください。



- 設置後、初めて電解水素水を飲用するときは、pH測定液でpHを測定し、pHが飲用範囲(pH10以上は飲用不可)であることを確認してから飲用してください。
- 電解水素水を初めて飲用するときはpHが中性に近い水を少量ずつ飲用し、その後体調に応じてpH、飲用量を調節して飲用してください。体調を損なう場合があります。
- 生成水のpH測定を定期的(1か月に1回以上)に行い、電解水素水が飲用範囲であることを確認してください。
- 電解水素水の飲用量は1日当たり500～1,000 mL程度としてください。
- 電解水素水の有効保存期間は生成後約2日、酸性水の場合約1週間ですが、生成後は速やかに使用してください。なお、保存する場合は必ず密閉した容器で冷蔵庫に入れてください。生成水の保存に金属製容器は使用しないでください。とくにアルカリに弱いアルミ製品や酸に弱い銅製品などは使用しないでください。
- 生成水にカビ臭がしたときは販売店にご連絡してください。
- 付属のグリセロリン酸カルシウムまたは食塩を本体に添加するときは、それぞれ付属の専用容器に入れてください。本体に直接入れると故障の原因になります。



1 安全上のご注意 (必ずお守りください)

お手入れについて



注意

- お手入れは必ず定期的に行ってください。
- 浄水カートリッジは常に最良の水質を保つため、定期的に交換してください。
- カルシウム分を多く含む原水の場合、原水中のカルシウム分が内部に付着しやすくなるため吐水量が少なくなります。この場合は、洗浄スイッチを押して電解槽の電極を洗浄するか、カルシウム洗浄剤(別売)を使って電解槽を洗浄してください。
- 原水中のカルシウム成分は切替コック内部にも付着しますので、定期的に切替コックを洗浄してください。
- 洗浄しても水の出が改善されないときは販売店にご連絡ください。
- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因になります。
- 電源プラグに汚れやほこりが付かないよう、定期的に掃除してください。汚れやほこりが付いたままにしておくと火災の原因になります。



- 本体に直接水をかけて洗わないでください。漏電、感電の原因になります。
- 本体や切替コック・ホース類・保存容器などの洗浄に、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 消耗品、残留物など、並びに寿命の終わった製品本体および付属品の廃棄に関しては地域が定める条例に従って処分してください。

付属品について



注意

- 本製品の付属品(専用部品)以外は使用しないでください。
- pH測定液を、飲んだり目に入れたりしないでください。体調を損なうことがあります。誤って飲用した場合は大量の水を飲み、目に入った場合は流水でよく洗い流してください。その後、必ず医師に相談してください。
- pH測定液は必ずフタをして幼児の届かないところに保管してください。火気に近づけないでください。引火することがあります。

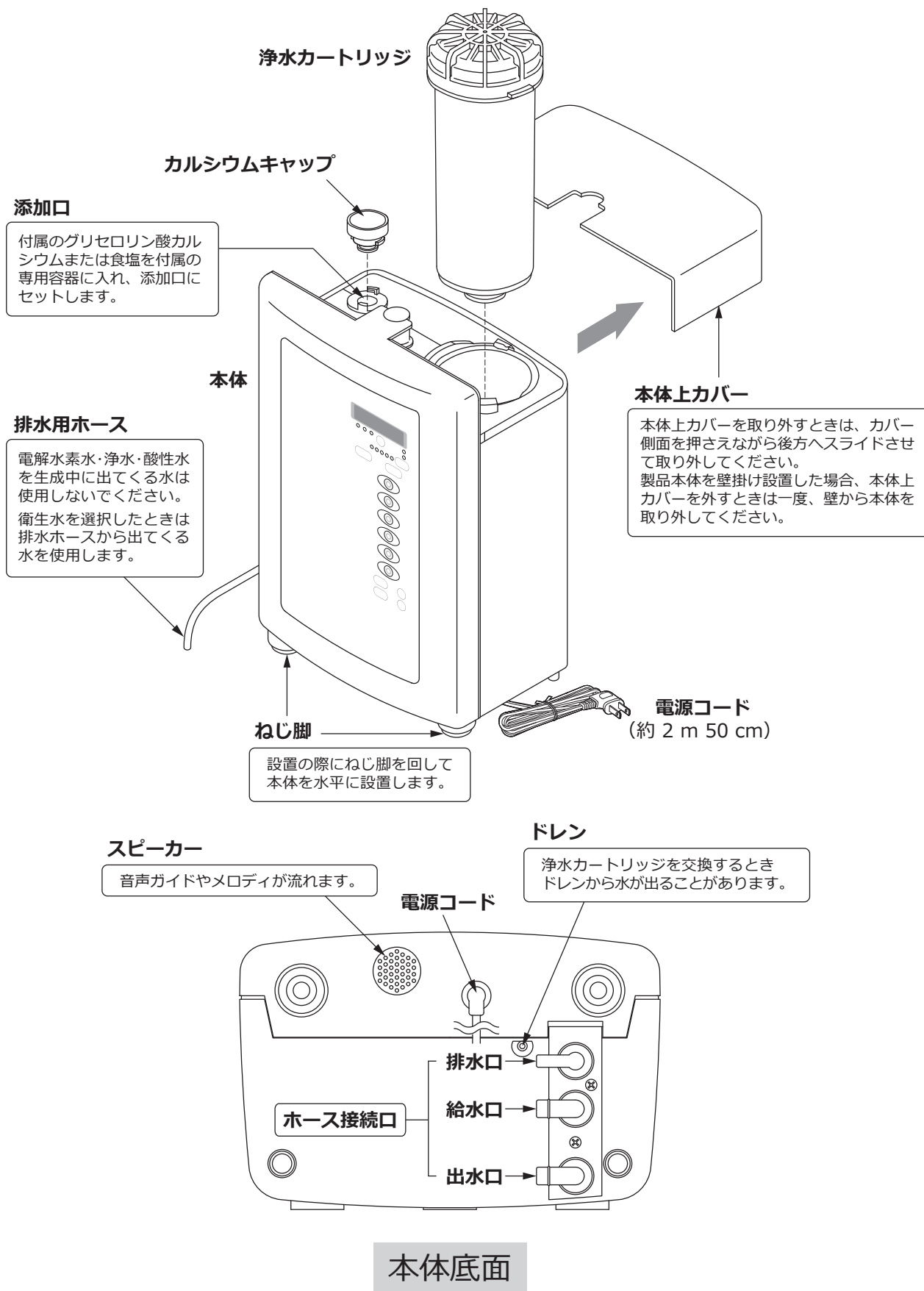


- pH測定液およびpH比色表の保存は、高温多湿を避け、暗所に保管してください。
- 電解補助剤は付属のグリセロリン酸カルシウム(食品添加物)を使用してください。指定のカルシウム剤以外のものは使用しないでください。
- 本体内にカルシウム容器を入れたままにする場合は、2〜3日ごとに取り出して水洗いしてください。



2 各部のなまえ

本体



2

各部のなまえ

切替コック

ツインホース(出水側)

本体から切替コックに生成水を送るホースです。
本体底面の出水口と接続します。

締付けキャップ

切替コックを蛇口に固定します。

ツインホース(給水側)

本体に水道水を送るホースです。本体底面の給水口と接続します。

切替レバー

水道水または生成水を選択するレバーです。電解水素水など生成水を使用するときは「浄水」に合わせてください。

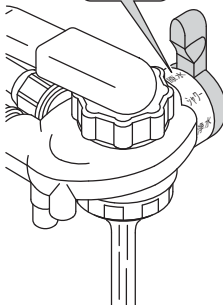
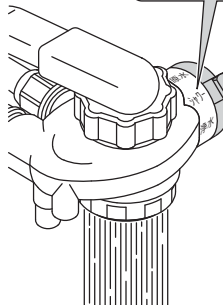
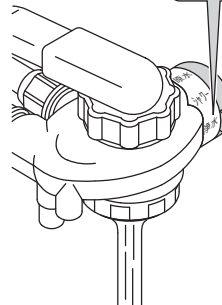
安全弁

故障防止の為、通水水圧が高いときに安全弁から水が出てきます。

吐水口

水道水または生成水が吐水されます。

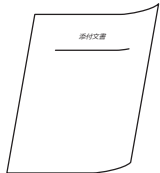
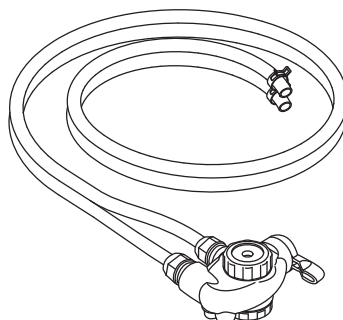
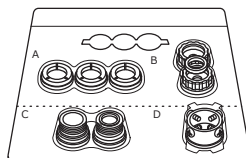
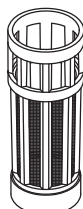
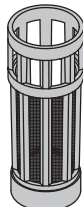
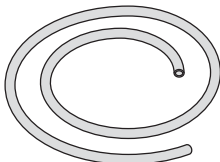
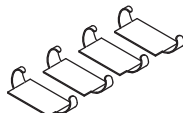
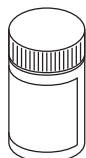
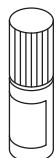
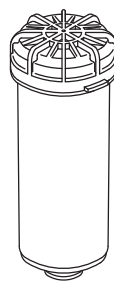
切替レバーの位置と水の種類

水道水		生成水 (電解水素水・浄水・酸性水)
原水  水道水がストレート水流で吐水されます	シャワー  水道水がシャワー水流で吐水されます	浄水  生成水(電解水素水・浄水・酸性水)がストレート水流で吐水されます

2 各部のなまえ

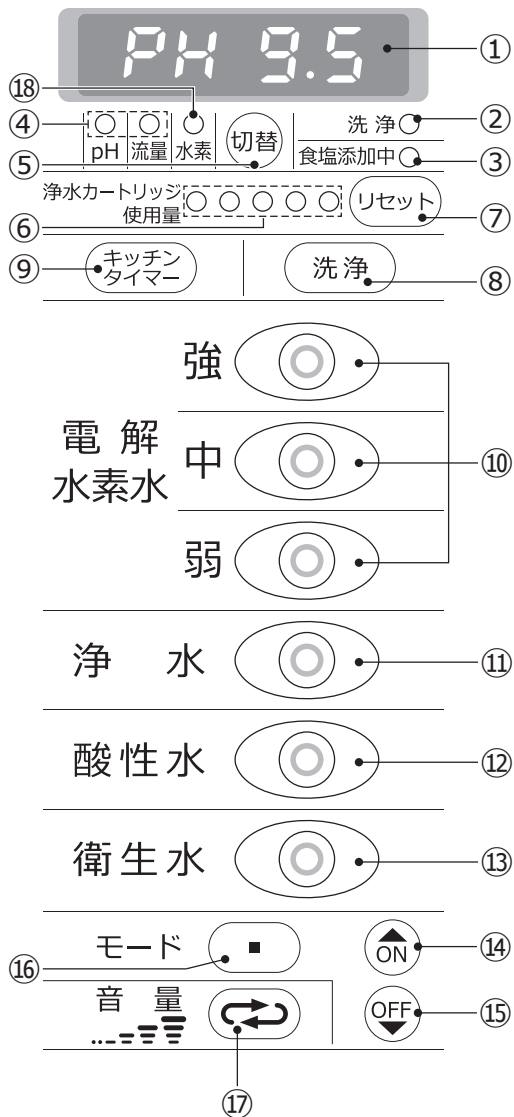
付属品

■以下の部品が入っているか確認してください。不備がある場合は販売店にご連絡ください。

印刷物	切替コック取付け用部品	本体装着用部品		
 ☐ 取扱説明書  ☐ 添付文書  ☐ 保証書	 ☐ 切替コック 〔ツインホース付き(約 1 m 50 cm) ホースバンド付き〕  ☐ 取付け用アダプターセット	 ☐ カルシウム容器 (白色)  ☐ 食塩カートリッジ (青色)		
本体設置用部品				
 ☐ 排水用ホース (約 1 m 50 cm)	 ☐ ホースクランプ	 ☐ 壁掛け用ねじ		
消耗品				
 ☐ グリセロリン酸 カルシウム (電解補助剤)	 ☐ 計量スプーン	 ☐ pH測定液	 ☐ pH比色表	 ☐ 浄水カートリッジ (本体組込済)

2 各部のなまえ

操作部／表示部



① 表示部

時計・pH・流量・設定内容やエラー表示など、各情報を表示します。

② 洗浄ランプ

本体内部の電解槽の電極を洗浄しているとき点滅します。

③ 食塩添加中ランプ

衛生水を生成するときに点滅および点灯します。(ページ20～23)

④ 表示選択ランプ

通水中に、表示部に表示される内容が点灯します。(ページ19)

⑤ 表示切替スイッチ

表示部に表示する内容を選択するスイッチです。(ページ16,19,20)

⑥ 浄水カートリッジ使用量ランプ

浄水カートリッジの使用量を確認できます。
また、浄水カートリッジの寿命や交換時期をお知らせします。(ページ24～26)

⑦ リセットスイッチ

任意に浄水カートリッジを交換するとき、浄水カートリッジの使用量をリセットします。(ページ26)

⑧ 洗浄スイッチ

本体内部の電解槽の電極を洗浄します。(ページ34)

⑨ キッチンタイマースイッチ

タイマー機能です。(ページ36)
1分から最大59分まで設定できます。

⑩ 電解水素水(弱・中・強)スイッチ

電解水素水を生成します。(ページ17)
押すとスイッチ周辺のランプが青色に点灯します。

⑪ 浄水スイッチ

浄水を作ります。(ページ17)
押すとスイッチ周辺が緑色に点灯します。

⑫ 酸性水スイッチ

酸性水を生成します。(ページ17)
押すとスイッチ周辺がオレンジ色に点灯します。

⑬ 衛生水スイッチ

衛生水を生成します。(ページ20～23)
本体に食塩を添加した後で押すとスイッチ周辺が赤色に点灯します。

⑭ アップ(ON)スイッチ

設定変更時に使用します。(ページ28～33)

⑮ ダウン(OFF)スイッチ

設定変更時に使用します。(ページ28～33)

⑯ モードスイッチ

設定の変更、確認に使用します。(ページ28～33)

⑰ 音量調節スイッチ

音量レベルを4段階調節します。(ページ33)
押すたびに音量レベルが「3 → 4 → 無音 → 1 → 2 → 3 …」を繰り返します。

⑱ 水素ランプ

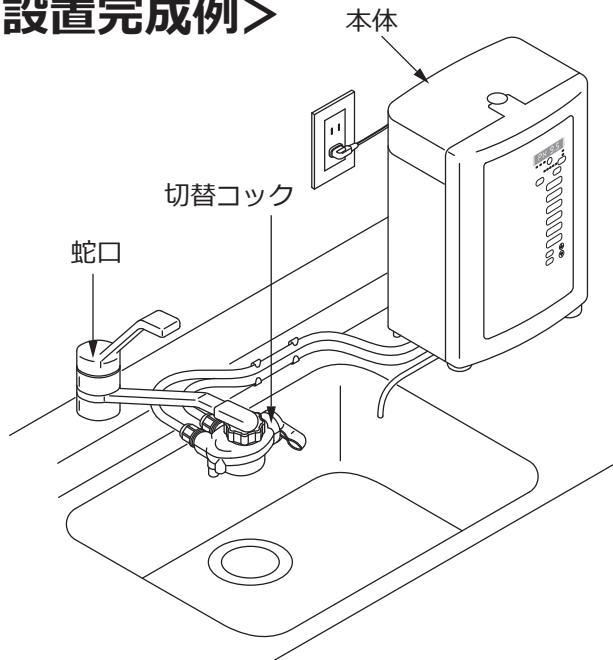
電解水素水を生成中は水素量に応じて点滅表示し、通水を停止すると消灯します。(ページ17)

3 設置と準備

本体の設置

- 「設置の前に(ページ1)」と「設置について(ページ2)」をよく読んでから正しく設置してください。
- 設置スペースや設置面、蛇口からの距離に注意しながら設置場所を決めてください。
- 本体は付属の壁掛け用ねじを使用すると、壁掛けまたは柱に設置できます。この場合は、設置に必要な強度の確認が必要です。販売店にご連絡ください。

<設置完成例>

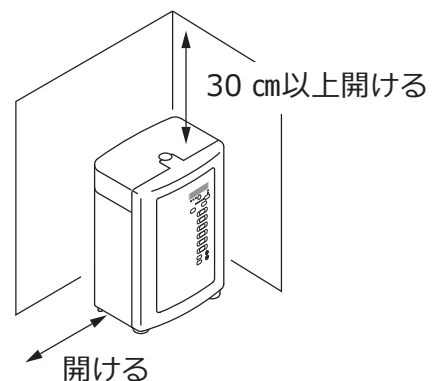


⚠ 注意 (必ず守る)

- 次のような場所には設置しないでください。
故障の原因になります。
 - ・火を使用しているところ
 - ・直射日光が当たる場所
 - ・凍結のおそれがある場所
 - ・湿気やほこりが多い場所
 - ・水がかかりやすい場所
 - ・腐食性ガスが発生する場所
 - ・電子レンジの近くなど、誤作動の影響を受けるおそれがある場所
- 本体は水平に設置してください。
ぐらついた台の上や傾いたところ、不安定な場所には設置しないでください。倒れて落下するなど、けがまたは故障の原因になります。
- 壁掛けまたは柱掛け設置をご希望の場合は販売店または工事店にご連絡ください。
(壁、柱の強度確認が必要です)

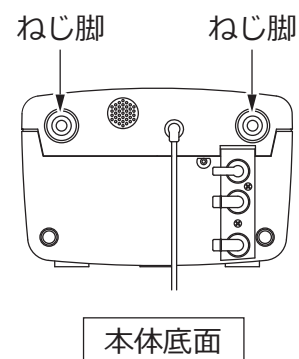
1 設置スペースを確保する

- ・浄水カートリッジが抜き差しできるスペース(上 30 cm以上)を確保してください。
- ・ホースを引き出すため、左右どちらかはスペースを確保してください。



2 本体を水平に設置する

- ・本体底のねじ脚を回して、本体の水平を調整してください。
- ・ねじ脚を調整しても不安定な場所には設置しないでください。
- ・ぐらついた台や傾いた場所には設置しないでください。



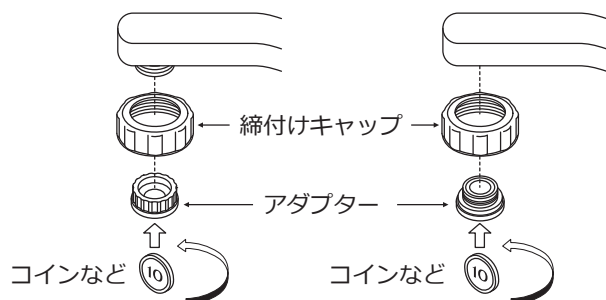
3 設置と準備

切替コックの取付方法

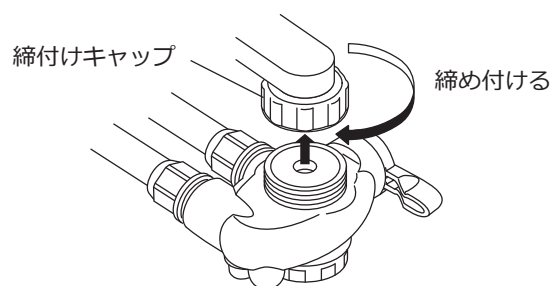
■ 蛇口の種類に適した取付け用アダプターセット(付属品)を使い、切替コックを蛇口に取り付けてください。

蛇口の種類	取付手順
外ねじ・内ねじタイプ 蛇口先端の泡沫金具を外すとパイプがねじになっているもの 対応：Bセット Cセット 泡沫金具 (Bセット) 外ねじ用 (Cセット) 内ねじ用 TOTO INAX W22 mm KVK W23 mm GROHE MOEN YANMAR M22 mm M24 mm GROHE 内は適応メーカー	① 蛇口先端の泡沫金具一式を取り外します。 外ねじタイプ 内ねじタイプ 泡沫金具
丸型蛇口タイプ 先端がふくらんだ丸型の蛇口にはAセットを使用してください (Aセット) 先がふくらんだ丸型パイプ用 16 mm用 Cリング 17.5 mm用 Cリング 19 mm用 Cリング	① 切替コックの締付けキャップを蛇口に通します。 締付けキャップ
その他のタイプ 丸型蛇口で付属のCリングに合わないものにはDセットを使用してください (Dセット) その他の蛇口用 ビス止め用固定リング	① ビス止め用固定リングのビス4本を一度取り外し、締付けキャップにビス止め用固定リングを通してから再度、ビスがかかるく止まるまでねじ込みます。 締付けキャップ ビス止め固定用リング かるく止まるまでねじ込む
取り付けられない蛇口 次のような形状の蛇口には取り付けることはできません。販売店にご相談ください。	先端部が10 mm以下 蛇口の直径が23 mm以上

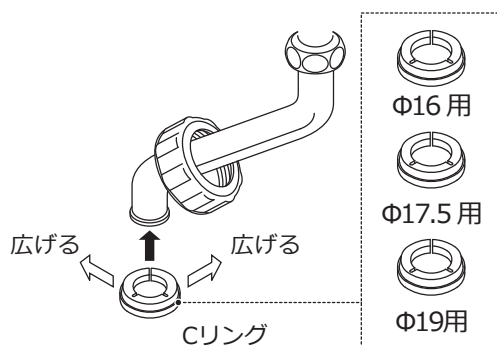
- ② 切替コックから締付けキャップを外します。
サイズに合ったアダプターを締付けキャップの下からはめ込み、アダプターを(コインなどで)締め付けます。



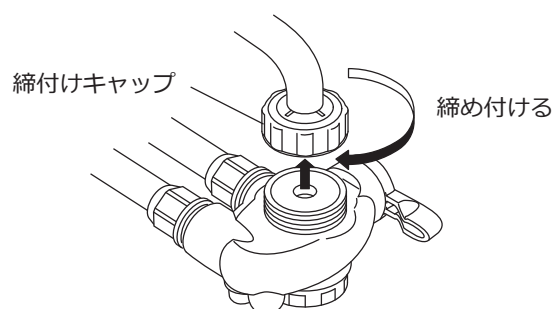
- ③ 切替コックを下から水平に当て、締付けキャップを締め付けて固定します。



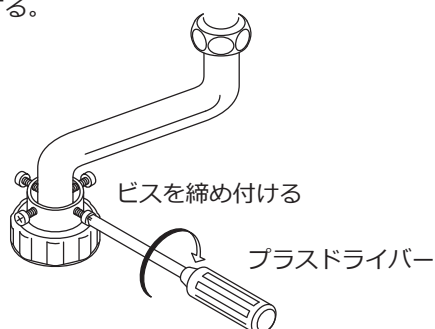
- ② サイズの合ったCリングを蛇口の先端にはめ込みます。



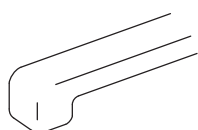
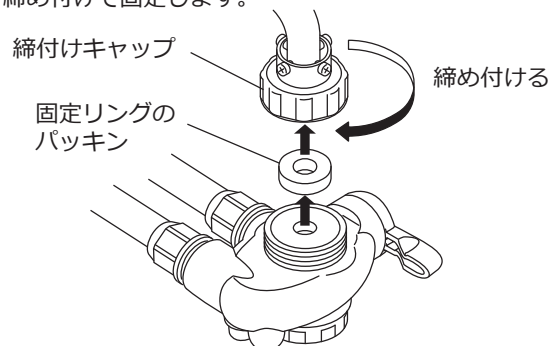
- ③ 切替コックを下から水平に当て、締付けキャップを締め付けて固定します。



- ② 蛇口の先端にビス止め固定リングを押し当て、プラスドライバーでビス4本を締め付けて固定する。



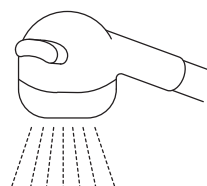
- ③ 切替コックを下から水平に当て、締付けキャップを締め付けて固定します。



蛇口の先端が丸型以外のもの



センサー付



シャワー付

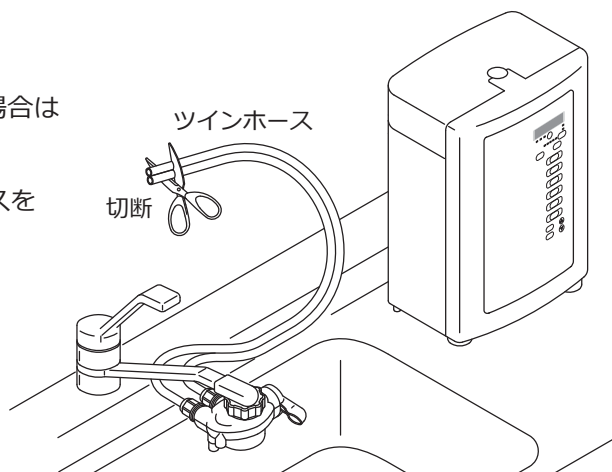
3 設置と準備

ホースの接続

■切替コックのツインホース(白色)と排水用ホース(灰色)を本体に接続します。

1 ツインホースの長さを調節する

- ・設置状況に対してホースが余る(長すぎる)場合はホースの本体接続側をはさみなどで切断し、長さ調節を行ってください。
- ・蛇口が左右に動く余裕を確認しながらホースを切断してください。



2 各ホースを本体底のエルボに接続する

- ・布巾などを広げた上に本体背面を下にして置き、接続作業を行ってください。
- ・各エルボは360°回転します。設置状況に応じて本体の左右どちらからでもホースを導けます。

ツインホース (白色)

(給水側のみ
矢印マークあり)

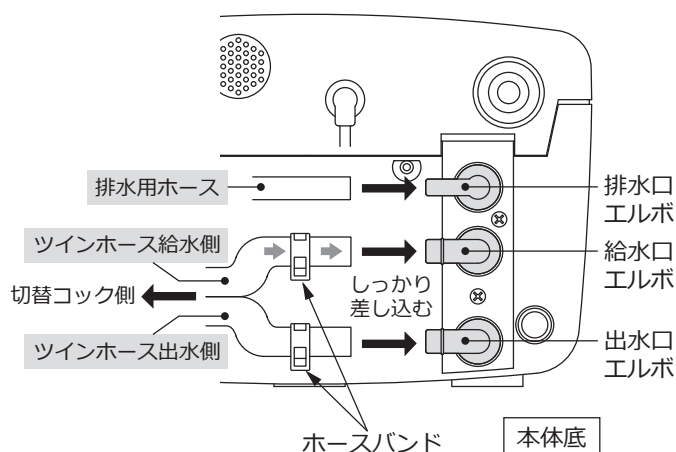
- ① ホースにホースバンドを通しておく
- ② エルボ(給水口/出水口)の奥までしっかり差し込む
- ③ ペンチなどを使いホースバンドをエルボ側へ移動させてホースを固定してください
(ホースバンドのつまみは本体側へ向ける)

排水用ホース (灰色)

(矢印マークなし)

排水口エルボの奥までしっかり差し込んでください

※ 排水用ホースにホースバンドは必要ありません

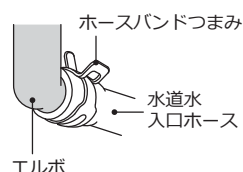


⚠ 注意

水漏れ防止のため、ホースをエルボの奥まで差し込み、ホースバンドで固定してください。



正しい接続



ホースバンドのつまみは
本体側へ向けてください



✕ 誤った接続

つまみが設置面に
向いている

ホースの差し込みが
不十分

⚠ 注意

- ホースバンドを素手で着脱するとケガをする場合がありますのでペンチなどを利用してください。本体を持ち上げるときもホースバンドで指をケガしないよう注意してください。
- ホースバンドのつまみを設置面に向けると、設置面に傷が付くことがありますので注意してください。

3 設置と準備

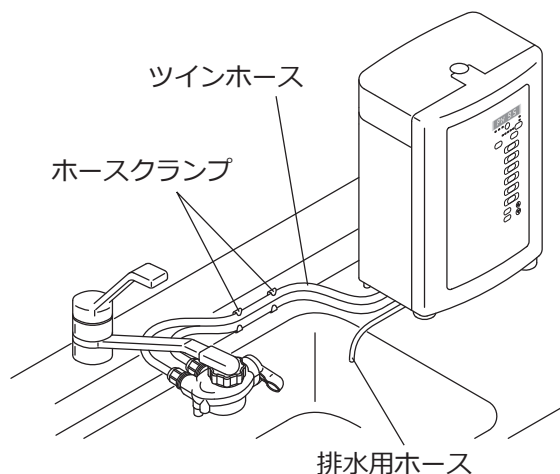
ホースの接続 (つづき)

3 ツインホースを固定する

ホースクランプ(付属)を使うとシンク周辺に固定できます。

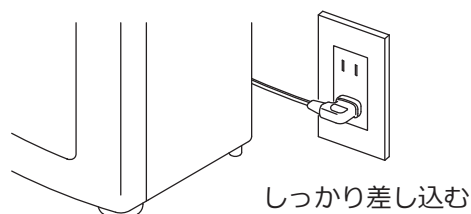
4 排水用ホースをシンク内に導く

設置状況に対してホースが余る(長すぎる)場合は、はさみなどで排水用ホースを切断し長さ調節を行ってください。



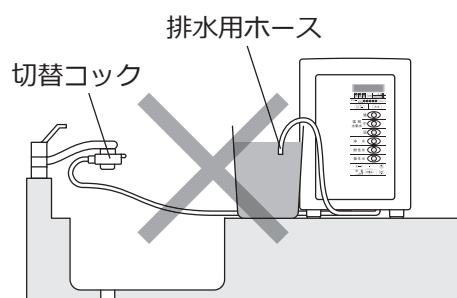
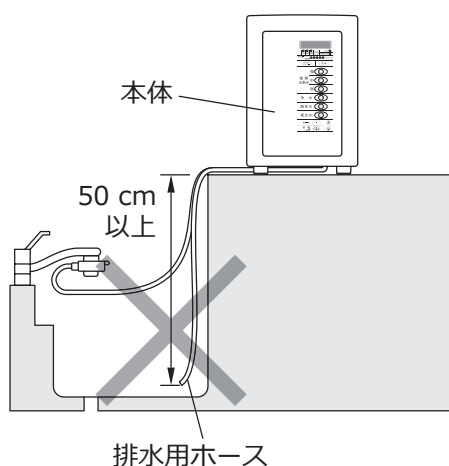
5 電源プラグを差し込む

- ・電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
- ・差し込むと自動的に「浄水カートリッジの通水洗浄」モードが開始します。音声ガイドに従って浄水カートリッジの通水洗浄を行ってください。(ページ15参照)



⚠ 排水用ホースの設置と取扱いの注意

■ 次のように設置または使い方をしないでください。



- ・排水用ホースの先端が本体より50 cm以上下がると、本体内部の水が排水用ホースから抜けてしまい、電解槽の自動洗浄が行えない場合があります。
- ・排水用ホースから出る水を容器に溜めるときは、ホースの先端を本体や切替コックより高い位置に導かないでください。また、先端を水に浸けないでください。(排水用ホースから排水されなくなります)
- ・水を溜めるときはシンク内に容器を置いて溜めてください。

3 設置と準備

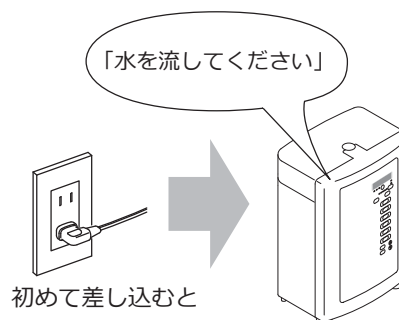
浄水カートリッジの通水洗浄

浄水カートリッジのすすぎ洗浄を行います

- 設置初め、電源プラグをコンセントに差し込むと自動的に浄水カートリッジの通水洗浄モードになります。
- 浄水カートリッジの通水洗浄モードにならない場合はリセットスイッチを3秒以上押してください。
- 設置初めや浄水カートリッジを新品に交換した後は、必ず浄水カートリッジの通水洗浄を行ってください。

1 初めて電源プラグを差し込んだとき

- ・ 設置初め、電源プラグをコンセントに差し込むと、音声ガイド「水を流してください」が流れます。
- ・ 再設置や移設時など、音声ガイドが流れないときはリセットスイッチを3秒以上押してください。

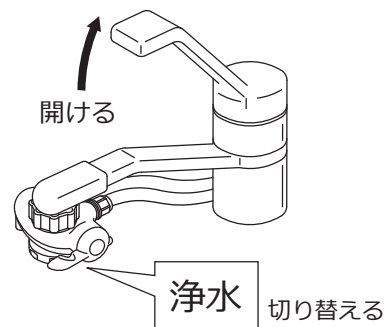


2 切替コックレバーを「浄水」に切り替え、蛇口を開けて通水を開始する(5.0L)

- ・ 切替コックと排水用ホースから水が出てきます。
- ・ 表示部に通水量がデジタル表示され、5.0L通水するまでカウントダウン表示します。
- ・ 音声ガイド「浄水器を洗浄中です」が流れます。

5.0L

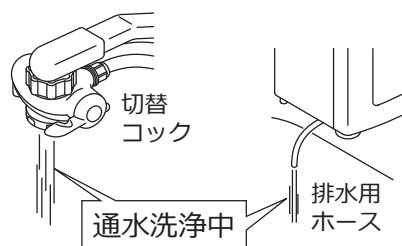
通水中はカウントダウン表示する



3 0.0L が点滅表示する

- ・ 通水量が「0.0L」になれば通水洗浄は終了です。
- ・ 音声ガイド「水を止めてください」が流れます。

0.0L



4 蛇口を閉じて通水を停止する

⚠ 注意

洗浄中に吐水される水は飲用できません。
そのまま排水してください。

3 設置と準備

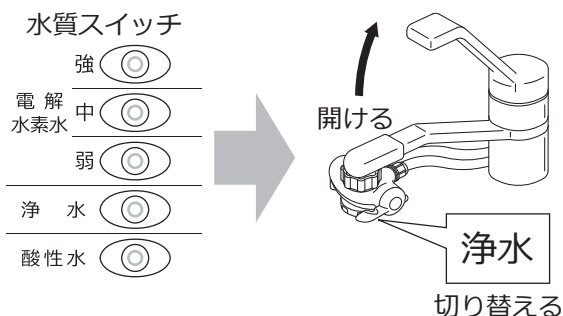
pH測定

pH測定液を使って吐水のpHを測定します

- 設置直後または長期間使用しなかった後で電解水素水を使用するときは、生成水のpHを測定し、飲用範囲のpHであるか確認してください。
- 電解水素水を飲用するときはpH9.5を適値とし、pH10以上は飲まないでください。
- 本体のpH表示とpH測定値を比較し、誤差がある場合は本体のpH表示を補正してください。(ページ29～30)
- このpH測定は定期的(1か月に1回以上)に行ってください。
- pH測定液とpH比色表は本製品専用の付属品をご使用ください。

1 測定する水質を選ぶ

測定したい水質のスイッチを押してください。

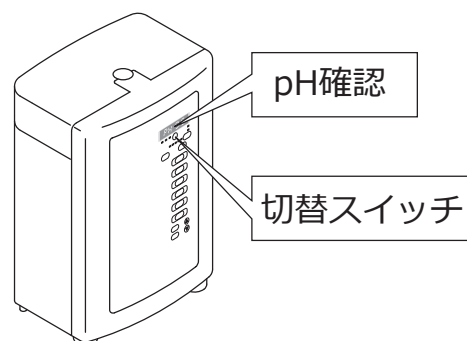


2 切替コックレバーを「浄水」に切り替え、蛇口を開けて通水を開始する

切替コックと排水用ホースから生成水が出てきます。

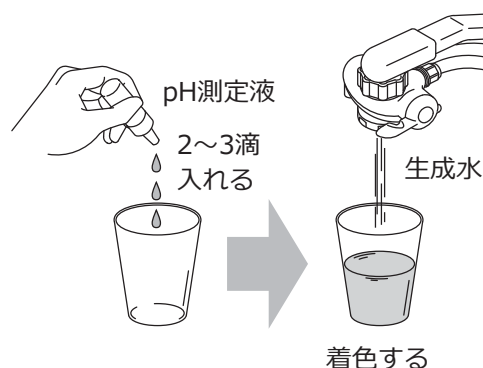
3 本体のpH表示を確認する

- ① 切替スイッチを押して表示部を「pH表示」にしてください。
- ② 約30秒通水してから表示部のpHを確認してください。



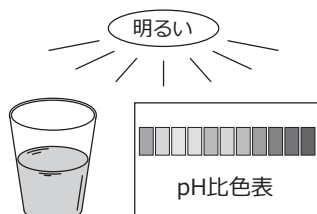
4 透明な容器にpH測定液を2～3滴入れ、切替コックから出てくる生成水を容器に入れる

pH測定液を入れた容器に生成水を入れると、pH測定液と反応して色が着色します。



5 生成水のpH値を測定する

コップとpH比色表を並べて持ち、明るいところでpHを読み取ってください。



⚠ 注意

- pH測定液およびpH測定液を入れた水は飲まないでください。
- 原水の遊離炭酸が通常より多い場合、電解水素水のpHは低い傾向を示します。また、pH比色表に近い色には変化しないこともあります。このような場合は水質の影響であり、製品の故障ではありません。
- pH測定液を保管するときは冷暗所に保管してください。日光に長時間あたると変色する場合があります。

4 作り方

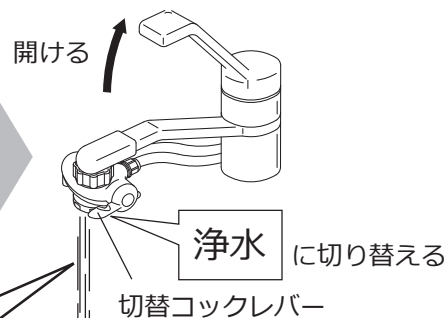
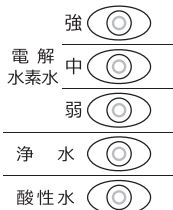
電解水素水 / 浄水 / 酸性水の作り方

- 毎日使い始めの水は、蛇口を全開にして約40秒間通水してから使用してください。
- 数日使わなかった後の使い始めは、蛇口を全開にして約1分間通水してから使用してください。
- 「電解水素水 弱・中・強」、「酸性水」のpH値は通水流量によって若干変動します。
- 通水流量に関係なくpH値を一定に保ったまま生成したいときは、pH一定設定(ページ31)を行ってください。

1 使用したい水質のスイッチを押し、切替コックレバーを「浄水」に切り替えて蛇口を開ける

水質スイッチを押すとスイッチのランプが点灯します。

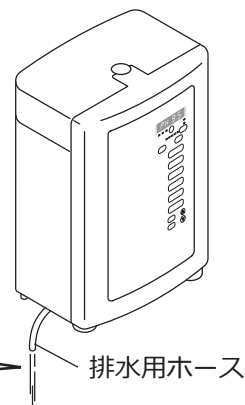
水質スイッチ



電解水素水 (弱・中・強)	・電解水素水が吐水されます ・吐水中は本体から通水音が流れます ・通水音は変更可能です(ページ29) ・pHは通水開始から約5秒で安定します
浄 水	・浄水が吐水されます ・通水音は流れません
酸性水	・酸性水が吐水されます ・吐水中は「ピッ・ピッ・ピッ」音が流れます ・酸性水は飲用できません

<排水用ホースから出る水について>

- ・飲用しないでください。
- ・シンクの排水口にそのまま排水するか、容器に溜めて食器洗いなどにお使いください。



⚠ 注意

- 通水開始直後、音声ガイド「洗浄中です」が流れたときは洗浄が止まるまで水を流し続け、音声ガイドが止まった後の水を使用してください。
- 初めて電解水素水を飲用するときはいきなり「電解水素水 強」を飲用せず、「浄水」や「電解水素水 弱」から少量ずつ飲み始めてください。その後、体調に応じてpHや飲用量を調整してください。
- 酸性水は飲用できません。
- 電解水素水を飲用する場合は適値をpH9.5とし、pH10より低いpH値を飲用してください。
- pH10以上の水は飲用しないでください。(pH10以上のときはpH値が点滅します)
- 電解水素水を冷蔵庫の給水タンクに入れて製氷しないでください。配管にカルシウム等のミネラル成分が付着し故障の原因になります。電解水素水を製氷するときは、別途用意した市販の製氷皿(金属製以外の材質)に入れて製氷してください。

<水素ランプについて>

- ・ 電解水素水を生成しているときは水素ランプが点滅します。
- ・ 電解水素水の水素量が多いときは水素量ランプが速く点滅し、少ないときは遅く点滅します。
- ・ 水素量は原水の水質、水温、流量、電解の状態により変わります。
- ・ 流量が同じ場合は弱・中・強 の順に水素量が多くなります。



水素ランプ 点滅

水素量と水素ランプの状態

水素量	少ない	多い
点滅速度	遅い	速い

2 終了するときは蛇口を閉じる

- ・ 吐水と通水音が止まります
 - ・ 蛇口を閉じた後、すぐに水が止まらない場合がありますが故障ではありません。
- これは、本体内部の水圧がすぐに抜けないために起こる現象です。

4 作り方

カルシウムの添加方法

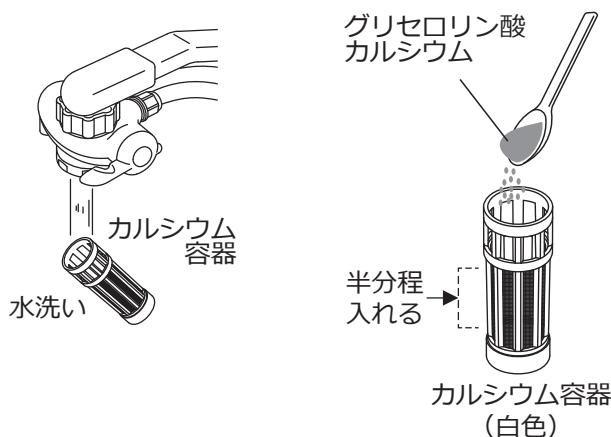
- 原水の水質によっては「電解水素水 強」を選択していてもpH9.0以上を生成できない場合があります。
この場合は、付属のグリセロリン酸カルシウム(電解補助剤)を下記の手順で添加してから生成してください。
- カルシウムを添加した後は、定期的にカルシウムキャップを開けてカルシウムが減っていないか確認してください。
- 補給するときは本製品専用の食品添加用グリセロリン酸カルシウムを使い、それ以外のものは使用しないでください。
- グリセロリン酸カルシウムは消耗品です。お買い求めは販売店までご連絡ください。
- 手を石鹸できれいに洗い、清潔を保ちながら行ってください。不衛生な状態で行うと本体内部でカビが生えたり、生成水に異臭がしたりする場合があります。

1 付属のカルシウム容器(白色)を水でよく洗い、付属のグリセロリン酸カルシウムを容器の約半分(3~5 g)まで入れる

グリセロリン酸カルシウムを入れるときは付属の計量スプーンを使ってください。

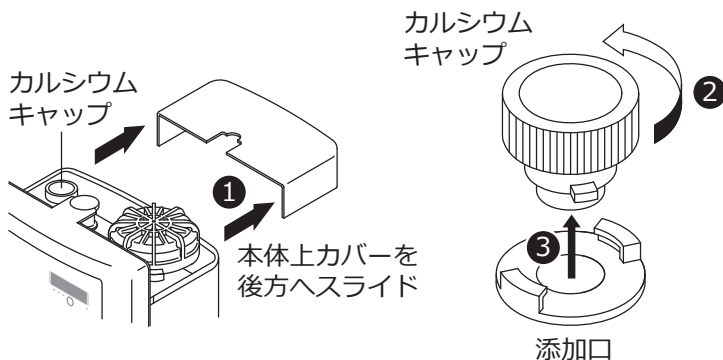
⚠注意

グリセロリン酸カルシウムを本体に直接入れないでください。故障の原因になります。



2 本体上カバーを外してカルシウムキャップを外す

通水を止めてから行ってください。

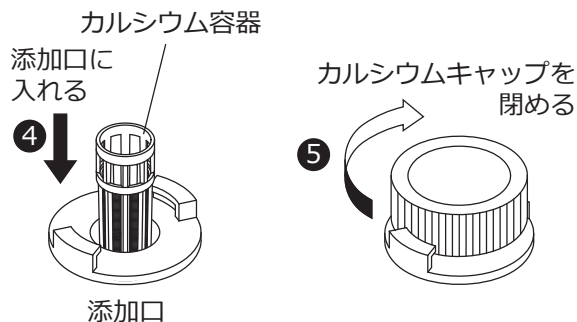


3 カルシウムを入れた容器を添加口に入れ、カルシウムキャップをしっかりと閉める

カルシウムキャップは必ず閉めてください。

⚠注意

カルシウムキャップを閉めずに通水すると、添加口から水があふれ、故障の原因になります。



4 本体上カバーを元通り取り付け

⚠注意

使用頻度が少ない場合はカルシウム容器を本体に入れたままにしないでください。

4 作り方

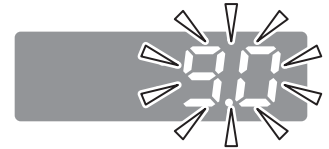
pHの微調整

pHの生成目標値を微調整します

- 設置場所の水道圧が通常より低く通水流量が少ない場合、電解水素水のpHが高くなりすぎることがあります。適度なpHが生成できない場合は、次の手順にしたがってpHの生成目標値を調整してください。
- pHの調整は通水せずに行います。

1 調整したい水質スイッチを3秒以上押す

表示部に現在の設定値が点滅表示します。



2 または を押して数値を変更する

調整範囲は表の通りです。

pH調整範囲		初期値
電解水素水 強	9.5～10.0	9.8
電解水素水 中	9.0～9.5	9.5
電解水素水 弱	8.5～9.0	9.0
酸性水	5.0～5.5	5.5

3 水質スイッチを押して設定を完了する

再度、水質スイッチを押すと設定が完了します。

設定をキャンセルしたい場合は、他のスイッチを押すか15秒以上放置してください。

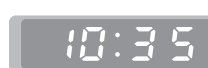
表示切替

通水中または通水停止中の表示内容を切り替えます

通水中または、通水停止中に スイッチを押す

スイッチと連動して表示部と表示選択ランプが「pH→流量→消灯」に切り替わります。

(表示例:電解水素水 弱・中・強のいずれかを選択しているとき)

選択ランプ	通水中	通水停止中
pH	 表示部…pH表示 選択ランプ…pHランプ点灯 水素ランプ…点滅	 表示部…時計表示 選択ランプ…pHランプ点灯
流量	 表示部…流量表示 選択ランプ…流量ランプ点灯 水素ランプ…点滅	 表示部…時計表示 選択ランプ…流量ランプ点灯
消灯	 表示部…pH表示 選択ランプ…消灯 水素ランプ…点滅	 表示部…右下ドットが点滅 (表示部のドット以外すべて 消灯します)

4 作り方

衛生水の作り方

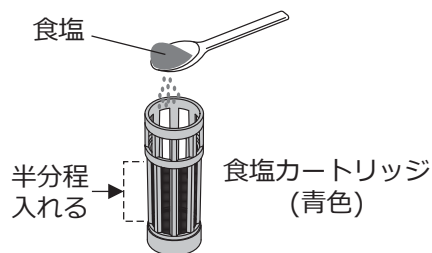
- 食塩は市販の精製塩(塩化ナトリウム99%以上)を使用してください。それ以外の食塩を使用すると故障の原因になります。
- 衛生水を一度に生成できる量は約1リットル(生成時間:1分30秒)です。1リットル以上必要な場合はもう一度手順1から生成してください。
- 衛生水は排水用ホースから吐水されます。このとき、切替コックから吐水される強アルカリ水は使用できませんのでそのまま排水してください。また、どちらの水も飲用できません。
- 添加口にカルシウム容器(白色)が入っているときは取り出してください。
- 添加口に食塩カートリッジ(青色)が入っていないとき、衛生水スイッチを押してもエラー音が鳴り、衛生水は生成できません。

⚠ 衛生水の取扱注意

- ・衛生水は特有のにおいがあります。生成中または使用中は必ず換気を行ってください。
- ・衛生水が目に入った場合は流水で洗い流してください。
- ・衛生水の保存は密閉できるガラス容器を使用してください。金属容器を使用すると変色する場合があります。
- ・保存容器に衛生水が入っていて飲めないことを明記し、小さなお子様の手の届かない場所に保存してください。
- ・衛生水を使用するときは金属材質に接触させないでください。(変色の恐れあり)
- ・指輪など貴金属を身に付けて生成、使用しないでください。
- ・保管場所は風通しがいい冷暗所を選び、早めに利用してください。

1 付属の食塩カートリッジ(青色)を用意し、カートリッジの約半分まで食塩(5~10 g)を入れておく

- ・まだ本体へはセットしないでください。
- ・付属の計量スプーンを使って食塩を入れてください。



⚠ 注意

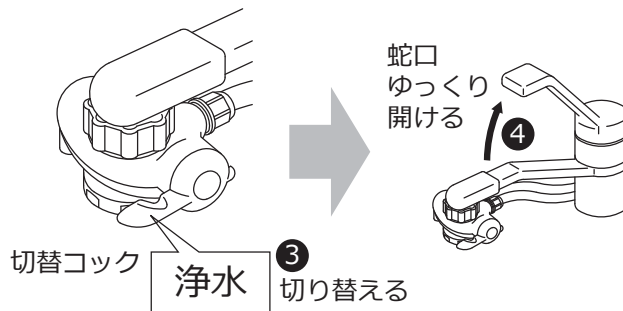
食塩を本体に直接入れないでください。
故障の原因になります。

2 本体の切替スイッチを押して流量表示を選択し、浄水スイッチを押す 流量表示を選択すると流量ランプが点灯します。



3 切替コックレバーを「浄水」に切り替え、蛇口を開けて本体に水を流す

自動的に洗浄中になった場合は、そのまま洗浄が終わるまで通水し続け、洗浄が終わったら次の手順に進んでください。



4 作り方

衛生水の作り方（つづき）

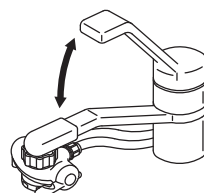
4 蛇口を調節して表示画面の流量値を「2.0L」に合わせる

衛生水の生成に適した流量をこの段階で合わせておきます。

⚠ 注意

流量が2.0Lより極端に少なすぎたり多すぎたりすると、適度な衛生水が生成できません。

蛇口を調節



点滅表示

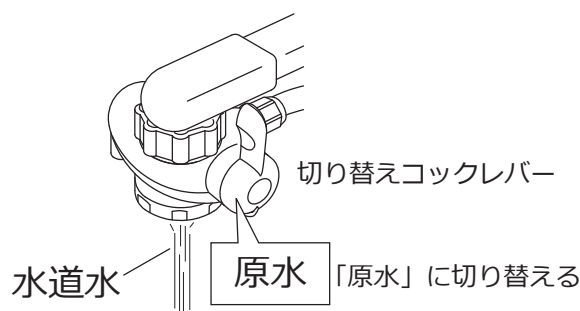
2.0L

2.0Lに合わせる

5 流量値が「2.0L」になったら、水を流したままの状態、切替コックレバーを「原水」に切り替える

レバーが固く感じる場合がありますが確実に切り替えてください。

切り替えた後は蛇口に触らず、水を流したままの状態ですぐ次の手順を進めてください。



切り替えコックレバー

水道水

原水

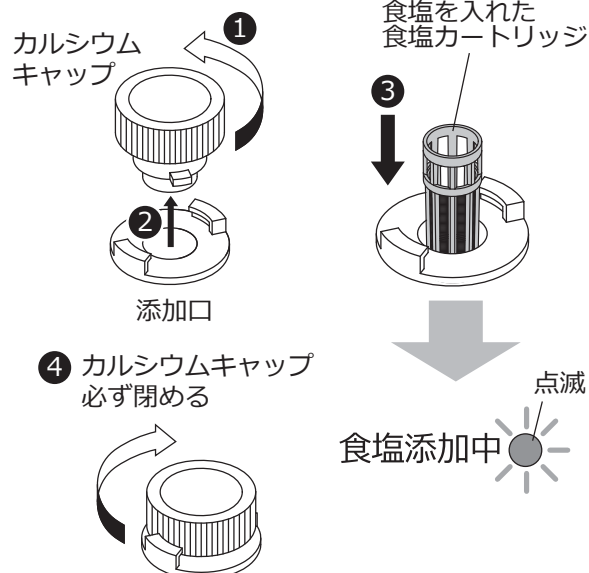
「原水」に切り替える

6 カルシウムキャップを外し、手順1で食塩を入れた食塩カートリッジを添加口にセットしてカルシウムキャップを必ず閉めてください

食塩カートリッジを本体にセットすると食塩添加中ランプが点滅表示します。

⚠ 注意

カルシウムキャップを閉めずに通水すると、添加口から水があふれ、故障の原因になります。



カルシウムキャップ

食塩を入れた食塩カートリッジ

添加口

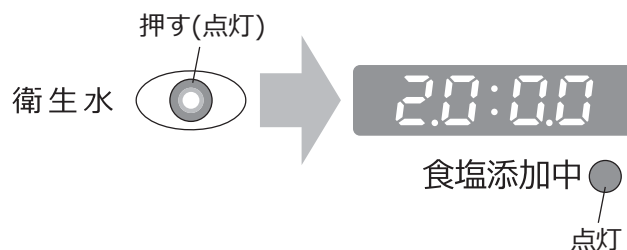
④ カルシウムキャップ必ず閉める

点滅

食塩添加中

7 衛生水スイッチを押す

衛生水スイッチと食塩添加中ランプが赤色に点灯し、表示画面に「2.0:0.0」が表示します。



押す(点灯)

衛生水

2.0:0.0

食塩添加中

点灯

4 作り方

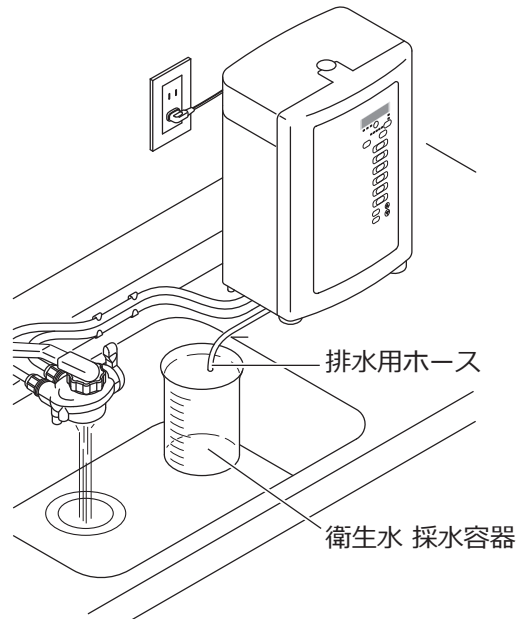
衛生水の作り方（つづき）

8 衛生水を採水する容器をシンク内に置き、排水用ホースの先端を容器内に導いておく

- ・衛生水は排水用ホースから出てきます。ホースの先端を採水容器に導いてください。
- ・採水容器の材質は、ガラス製またはプラスチック製をご用意ください。金属製の材質は容器が傷む場合があります。
- ・生成できる衛生水は約1リットルです。容器の容量は1リットル対応容器をご準備ください。

⚠ 注意

- 金属材質に衛生水が長時間接触していると金属が傷む場合がありますので採水・保存の容器に金属製品は使用しないでください。
- 貴金属を身につけて衛生水の生成・使用はしないでください。
- 衛生水が金属に触れた場合は速やかに洗い流してください。
- ホースの先端を本体や切替コックより高い位置に導かないでください。
- 採水するときはシンク内に容器を置いて溜めてください。



9 切替コックレバーを「浄水」に切り替えて衛生水の生成を開始する (排水用ホースから衛生水が吐水します)

- ・レバーが固く感じる場合がありますが確実に切り替えてください。
- ・生成中は「衛生水飲まないでください」の音声ガイドが流れ続けます。
- ・生成中は表示画面が「2.0:2.0」になり、約1分30秒間 衛生水を生成します。

※生成中に表示画面右側の流量値が大きく変動する場合は、生成しながら蛇口を調節して2.0に合わせてください。
基準値（画面左側）の数値は変動しません。

お知らせ

- 生成中に通水を止めると衛生水の生成は終了します。再度衛生水が必要な場合は、音声ガイドにしたがって洗浄を行い、手順1からやり直してください。
- 衛生水を採水するとき、排水用ホースから出始めた最初の水（2～3秒間）は排水し、その後出てくる水から採水することをおすすめします。
（出始めの水から採水しても問題ありませんが、より濃度の高い衛生水が採水できます）

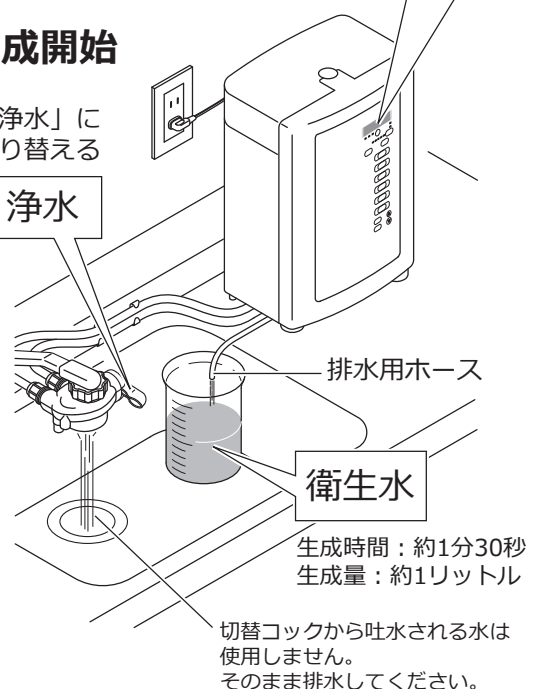
※ 生成中の表示画面



生成開始

「浄水」に切り替える

浄水



生成時間：約1分30秒
生成量：約1リットル

切替コックから吐水される水は使用しません。そのまま排水してください。

4 作り方

衛生水の作り方（つづき）

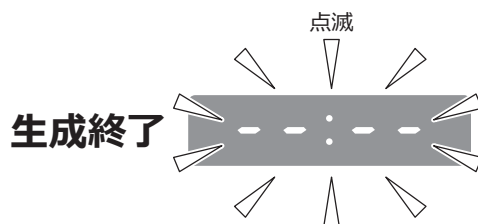
10 表示画面が「-- : --」になったら 生成終了です 音声ガイドにしたがって本体内部 の通水洗浄を行ってください

- ① 音声ガイド「水を止めてください」が流れますので、水を止めてください。
- ② 水を止めると音声ガイド「食塩カートリッジを外してください」が流れますので、カルシウムキャップを開けて食塩カートリッジを取り出してください。
- ③ 食塩カートリッジを取り出すと表示画面が「:60」に変わり、音声ガイド「キャップを閉めて水を流してください」が流れますので必ずカルシウムキャップを閉めてから、蛇口を開けてください。

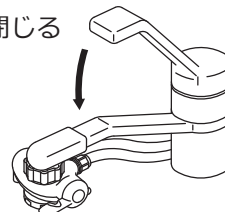
⚠ 注意

カルシウムキャップを閉めずに通水すると、添加口から水があふれ、故障の原因になります。

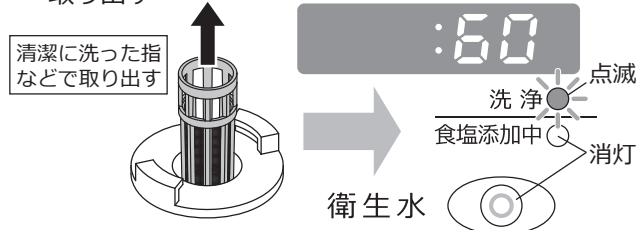
- ④ 水を流し始めると洗浄ランプが点灯し、音声ガイド「洗浄中です」が流れ、本体内部の通水洗浄を行います。洗浄中は表示画面の数値がカウントダウンします。



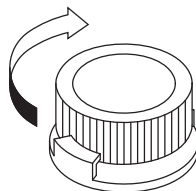
① 蛇口を閉じる



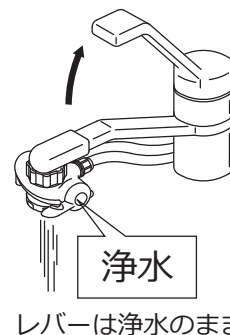
② カルシウムキャップを開けて食塩カートリッジを取り出す



③ カルシウムキャップを必ず閉める



④ 蛇口を開ける



洗浄開始



11 洗浄終了

表示画面が「00:00」になったら音声ガイド「水を止めてください」が流れ、洗浄終了です。蛇口を閉じて通水を止めてください。

洗浄終了



5 浄水カートリッジの交換

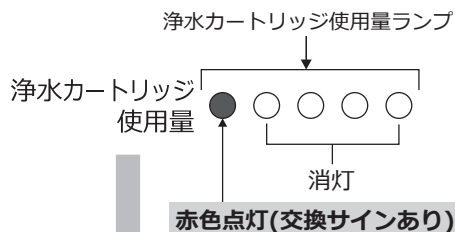
交換のお知らせサイン

こんなときは浄水カートリッジを交換してください

- 交換のお知らせのサインは2種類(通水使用量の寿命、使用期間の寿命)ありますが、どちらの場合も浄水カートリッジ使用量ランプの左端が赤色に点灯しますので速やかに新品の浄水カートリッジと交換してください。
- 吐水量が使い初めより少なくなった、または電解水素水や浄水にカルキ臭がするときは、浄水カートリッジ使用量ランプが赤色に点灯していなくても、浄水カートリッジを速やかに交換してください。
- 浄水カートリッジは良質な水質を保つため定期的な交換が必要です。
- 交換するときは電源プラグをコンセントに差し込んだまま行ってください。電源プラグを抜いたまま交換すると浄水カートリッジ使用量をリセットできません。
- 浄水カートリッジを交換するときは、必ず通水を止めてから行ってください。
- 交換用の新しい浄水カートリッジのお買い求めは販売店までご連絡ください。

通水使用量が30トンを超えた

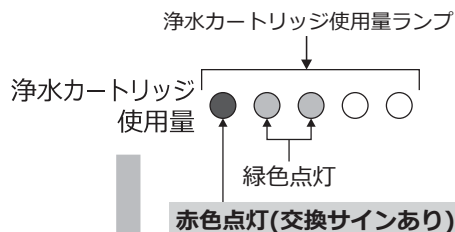
積算使用量が30トンを超えると使用量ランプの左端が赤色の点灯に変わり、通水量の寿命をお知らせします。速やかに新しい浄水カートリッジに交換してください。



交換方法：ページ25参照

使用期間が1年半を過ぎた

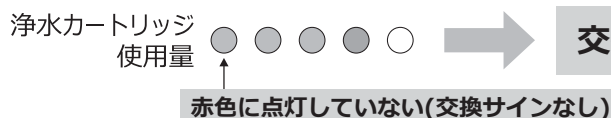
浄水カートリッジの使用開始から1年半を過ぎると使用量ランプが緑色に点灯していても左端のランプが赤色に点灯し、積算使用量の寿命に関係なく使用期間が過ぎたことをお知らせします。速やかに新しい浄水カートリッジに交換してください。



交換方法：ページ25参照

交換サインは出ていないが交換する場合

交換お知らせのサイン(赤色点灯)が出ていなくても必要に応じて浄水カートリッジを交換してください。



交換方法：ページ26参照

浄水カートリッジ使用量ランプの見方(積算使用量)

ランプの状態	使用量
● ● ● ● ●	0トン～6トン未満
● ● ● ● ○	6トン以上～12トン未満
● ● ● ○ ○	12トン以上～18トン未満
● ● ○ ○ ○	18トン以上～24トン未満
● ○ ○ ○ ○	24トン以上～30トン未満
● ○ ○ ○ ○	30トン以上

- 緑色点灯
- 赤色点灯
- 消灯

⚠ 注意

浄水カートリッジは本製品専用(正規品)をお使いください。交換用浄水カートリッジのお買い求めは本製品をお買い求めになった販売店まで、ご連絡ください。

※浄水カートリッジの通水使用量設定が30トンの場合

寿命により交換する場合

使用量ランプ(左端)が **赤色点灯している** 場合

- 浄水カートリッジ使用量ランプ(左端)が赤色に点灯したら、新しい浄水カートリッジに交換してください。
- 交換するときは電源プラグをコンセントに差し込んだまま行ってください。電源プラグを抜いたまま交換すると浄水カートリッジ使用量をリセットできません。
- 交換するときは必ず通水を止めてから行ってください。

1 本体上カバーを外す

後方へスライドさせてください。

2 浄水カートリッジを本体から外す

- ・ 通水を止めてから行ってください。
- ・ 左に回してから抜き取ってください。
- ・ 音声ガイド「浄水器をセットしてください」が流れます。

3 新しい浄水カートリッジをセットする

- ・ 本体に差し込み、右に回して固定してください。
- ・ 浄水カートリッジ使用量ランプがすべて点灯し、音声ガイド「水を流してください」が流れます。
- ・ 本体上カバーを取り付けてください。

4 切替コックレバーを「浄水」に切り替え、蛇口を開けて通水を開始する(5.0L)

- ・ 切替コックと排水用ホースから水が出てきます。
- ・ 表示部に通水量がデジタル表示され、5.0L 通水するまでカウントダウン表示します。

5.0L

通水中はカウントダウン表示する

5 0.0L が点滅表示する

- ・ 通水量が「0.0 L」になれば通水洗浄は終了です。
- ・ 音声ガイド「水を止めてください」が流れます。

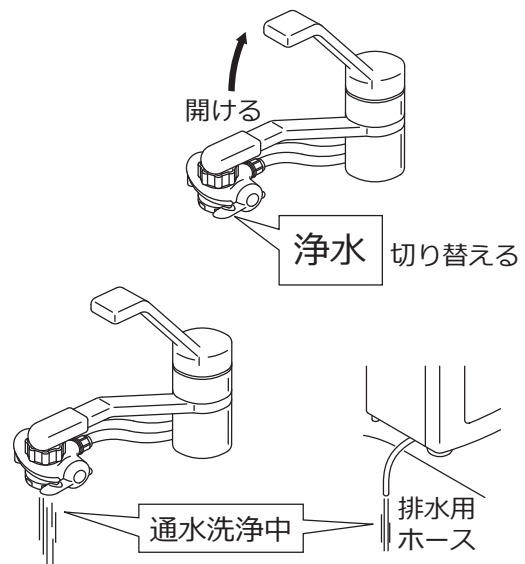
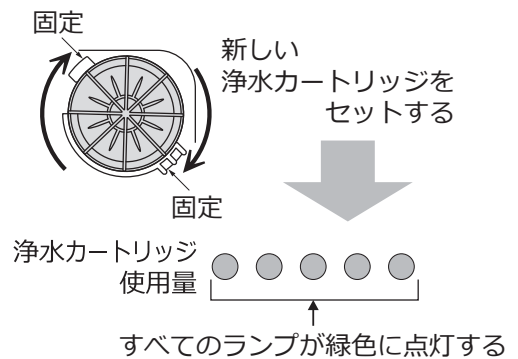
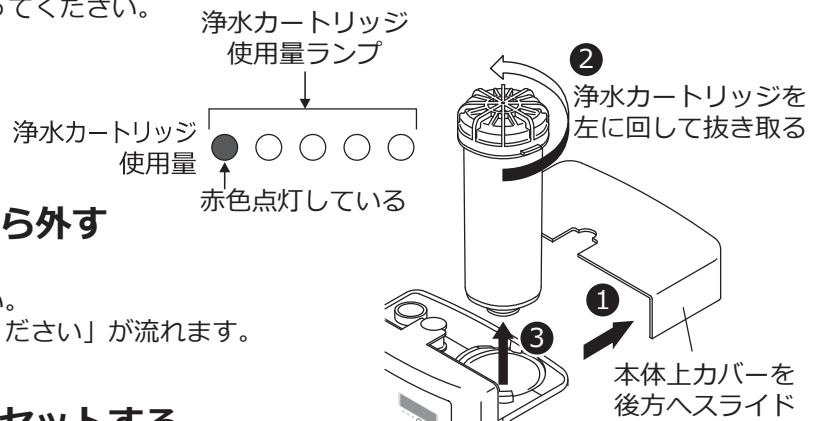
6 蛇口を閉じて通水を停止する

△ 注意

使用済みの浄水カートリッジを処分するときは燃えないゴミまたは市区町村が指定する分別方法で廃棄してください。
(浄水カートリッジの材質：ケースはABS樹脂、ろ材は活性炭)

△ 注意

洗浄中に吐水される水は使用できません。
そのまま排水してください。



5 浄水カートリッジの交換

寿命ではないが交換する場合

使用量ランプ(左端)が **赤色点灯していない** 場合

- 浄水カートリッジ使用量ランプ(左端)が赤色に点灯していなくても吐水量が使い初めより少なくなった、または生成水にカルキ臭がするときは、新しい浄水カートリッジに交換してください。
- 交換するときは電源プラグをコンセントに差したまま行ってください。
- 浄水カートリッジ使用量ランプのリセットは手動で行います。
- 交換するときは必ず通水を止めてから行ってください。

1 本体上カバーを外す

後方へスライドさせてください

2 浄水カートリッジを本体から外す

- ・ 通水を止めてから行ってください。
- ・ 左に回してから抜き取ってください。
- ・ 音声ガイド「浄水器をセットしてください」が流れます。

3 **リセット** スイッチを3秒以上押す

浄水カートリッジ使用量ランプがリセットされ、ランプがすべて点灯します。

4 新しい浄水カートリッジをセットする

- ・ 本体に差し込み、右に回して固定してください。
- ・ 音声ガイド「水を流してください」が流れます。
- ・ 本体上カバーを取り付けてください。

5 切替コックレバーを「浄水」に切り替え、蛇口を開けて通水を開始する

- ・ 切替コックと排水用ホースから水が出てきます。
- ・ 表示部に通水量がデジタル表示され、5.0 L通水するまでカウントダウン表示します。

5.0L

通水中はカウントダウン表示する

6 **0.0L** が点滅表示する

- ・ 通水量が「0.0 L」になれば通水洗浄は終了です。
- ・ 音声ガイド「水を止めてください」が流れます。

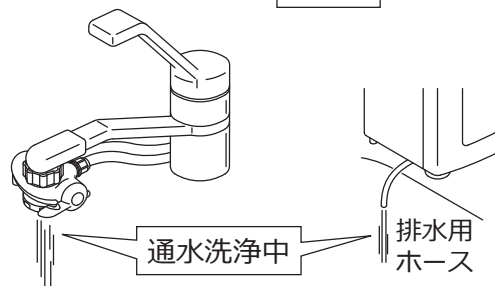
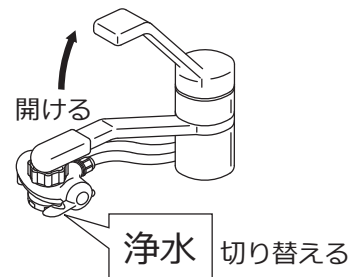
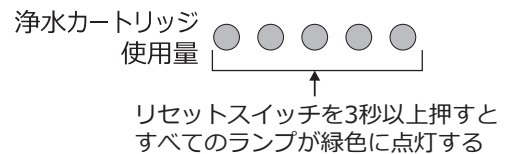
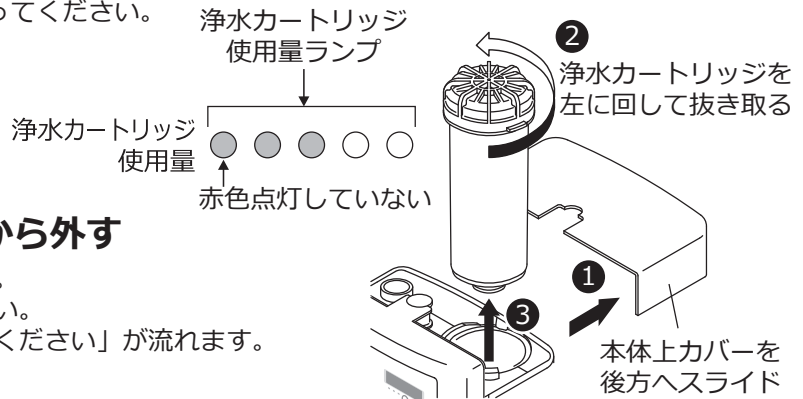
7 蛇口を閉じて通水を停止する

⚠ 注意

使用済みの浄水カートリッジを処分するときは燃えないゴミまたは市区町村が指定する分別方法で廃棄してください。
(浄水カートリッジの材質：ケースはABS樹脂、ろ材は活性炭)

⚠ 注意

洗浄中に吐水される水は使用できません。
そのまま排水してください。



6 設定

設定一覧表

- 設定の変更および確認は通水していないときに行ってください。
- 設定を変更するときはモードスイッチを数回押し、変更したい機能を表示させてから▲(ON)▼(OFF)ボタンで設定を変更してください。
- 変更したら再度モードスイッチを数回押しして表示部を時計表示に戻してください。時計表示に戻ると設定は完了です。時計表示は設定を変更してから15秒以上放置しておいても自動的に時計表示になり、設定は完了します。

機能名	本体表示 (初期値)	モードスイッチ 押し回数	こんなときに	設定内容	参照 ページ
時刻設定	"時"設定 "分"設定	1回押 2回押	現在時刻を設定したい	0~23:("時"は24時間制で1時間単位) 0~59:("分"は1分単位)	▶ 28
積算使用量の 確認(水量/期間)	A 00	3回押	浄水カートリッジの積算 通水量または使用期間を 確認したい	▲:積算通水量を表示する ▼:使用期間を表示する	▶ 28
通水音の変更	b 1	4回押	電解水素水を生成中の 通水音を変更したい	1:「ピンポン」音(初期値) 2:うぐいすの鳴き声 3:チャイム音 OFF:通水音なし	▶ 29
pH表示の補正	C 0.0	5回押	本体に表示されるpH値が pH測定液で測定したpH 値と誤差があるとき	±2.0:補正値は0.1刻みで設定可能 初期値0.0	▶ 29 ▶ 30
電流表示	d o F F	6回押	通水中に流れている電解 電流値を知りたいとき	ON:電解電流値を表示する OFF:pHを表示する(初期値)	▶ 30
pH一定設定	E o F F	7回押	通水流量に関係なく生成 するpH値を一定に保って 生成したい	ON:pHを一定制御する OFF:一定制御しない(初期値)	▶ 31
夜間照明設定	F o F F	8回押	深夜23:00から翌朝7:00 の間は本体の照明を暗く したい	ON:23:00~7:00の間だけ 自動的に本体の照明が暗くなる OFF:暗くならない(初期値)	▶ 31
自動洗浄 開始時刻設定	G 2	9回押	自動洗浄の開始時刻を 変更したい	0~23:(24時間制で1時間単位) 初期値:2	▶ 32
浄水カートリッジ 使用期間設定	H 1.5	10回押	通常は変更しないで ください	初期値:1.5年 0.5~2.5:(0.5年刻みで設定可能) --:使用期間のお知らせはしない	▶ 32
浄水カートリッジ 使用量設定	I 30	11回押	通常は変更しないで ください	初期値:30トン 5~50:(5トン刻みで設定可能) --:通水量の寿命はお知らせしない	▶ 33
設定初期化	J o F F	12回押	設定を初期値に戻したい	浄水カートリッジ使用期間設定と浄水 カートリッジ使用量設定以外の設定を リセットして初期値に戻します	▶ 33
	時計表示 に戻る	13回押	※モードスイッチの押し回数は時計表示の状態から数えた回数です。		

6 設定

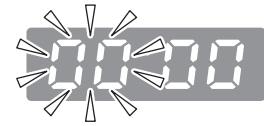
時刻設定

例：午前10時35分に設定する場合

"時"設定

1 モード を1回押す

"時"表示が点滅します。



"時"が点滅する

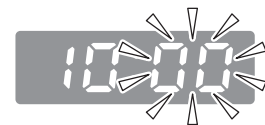
2 または を押して時を合わせる

長押しすると数字が早く変わります。

"分"設定

3 モード を押す

"分"表示が点滅します。



"分"が点滅する

4 または を押して分を合わせる

長押しすると数字が早く変わります。

5 モード を11回押して時計表示に戻す

- ・時計表示に戻したとき設定が完了します。
- ・手順4の後、15秒以上なにも操作しなければ自動で時計表示に戻ります。



積算使用量の確認

浄水カートリッジの積算通水量と使用期間を確認できます

積算通水量を確認する場合

1 モード を3回押して表示部の左側に を表示させる

- ・現在の積算通水量が点滅表示されます。
- ・ は単位(トン)を表します。
- ・積算通水量が1トン未満の場合は0トン表示のままです。
- ・最大99トンまで表示できます。

例：積算通水量3トンの場合



点滅

使用期間を確認する場合

2 積算通水量表示のときに を押す

- ・現在の使用期間(日数)が点滅表示されます。
- ・使用開始時は   が表示されます。
- ・最大999日まで表示できます。
- ・積算通水表示に戻したいときは  を押してください。

例：使用期間20日目の場合



点滅

3 モード を10回押して時計表示に戻す

手順1または2の後、15秒以上なにも操作しなければ自動で時計表示に戻ります。

6 設定

通水音の変更

電解水素水生成中の通水音を変更できます

1 モード を4回押して表示部の左側に を表示させる

現在の通水音番号が点滅表示されます。

例：「ピンポン音」の場合



2 または を押して通水音を選択する

- 1:「ピンポン」音(初期値)
- 2:うぐいすの鳴き声
- 3:チャイム音
- OFF:通水音なし

3 モード を9回押して時計表示に戻す

- ・時計表示に戻したとき設定が完了します。
- ・手順2の後、15秒以上なにも操作しなければ自動で時計表示に戻ります。

※ 通水音または音声ガイドの音量を変更したいときは「音量調節(ページ31)」を参照してください。

pH表示の補正

本体のpH表示がpH測定値と誤差があるとき

- 本体のpH表示が、pH測定液を使って測定したpH値と違う場合、本体のpH表示を補正してください。
- pH補正は水質ごと(電解水素水[弱,中,強]、酸性水)に行ってください(浄水、衛生水は除く)。
- 原水の水質によっては吐水のpHに誤差が生じる場合があります。

例：電解水素水 強 のpH9.5(表示値)をpH9.0(測定値)に補正する場合

1 モード を5回押して表示部の左側に を表示させる

- ・現在の設定が点滅表示されます。
- ・初期値:「0.0」

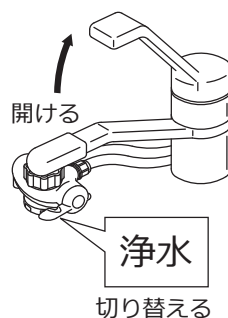
pH表示補正設定



2 補正したい水質スイッチを押す

3 切替コックのレバーを「浄水」に切り替え、蛇口を開けて通水する

表示部にpHが表示されます。



強 

表示値



6 設定

pH表示の補正（つづき）

4 pH測定液で測定したpH値を入力する

通水中に  または  を押して入力してください。

pH測定値入力



5 通水を止めて補正值を確認する

蛇口を閉じて通水を止めてください。
補正值が表示されます。

補正值



6 モード を8回押して時計表示に戻す

- ・時計表示に戻したとき設定が完了します。
- ・手順5の後、15秒以上なにも操作しなければ自動で時計表示に戻ります。

電流表示

通水中のpH表示を電解電流表示に変更する場合

1 モード を6回押して表示部の左側に を表示させる

現在の設定が点滅表示されます。

例：電流表示しない



点滅

2 または を押して設定を選択する

ON:電解電流値を表示する

OFF:電解電流値は表示せずpHを表示する(初期値)

3 モード を7回押して時計表示に戻す

- ・時計表示に戻したとき設定が完了します。
- ・手順2の後、15秒以上なにも操作しなければ自動で時計表示に戻ります。

通水中



(表示例)
電解電流
1.0A

○ pH 流量 水素 切替 洗浄 食塩添加中

「ON」を選択した場合、切替スイッチでpH表示を選択していても、通水中は電解電流値を表示します。
このときpHランプは消灯します。

6 設定

pH一定設定

通水流量に関係なく生成するpH値を一定に保って生成します

1 モード を7回押して表示部の左側に を表示させる

現在の設定が点滅表示されます。

例：一定制御しない



点滅

2 または を押して設定を選択する

ON:pHを一定制御する

OFF:一定制御しない(初期値)

3 モード を6回押して時計表示に戻す

- ・時計表示に戻したとき設定が完了します。
- ・手順2の後、15秒以上なにも操作しなければ自動で時計表示に戻ります。

夜間照明設定

夜間(23:00～翌7:00)の間、自動で本体の照明を暗くします

■通水させている間は標準の明るさに戻ります。

1 モード を8回押して表示部の左側に を表示させる

現在の設定が点滅表示されます。

例：照度は落とさない



点滅

2 または を押して設定を選択する

ON:23:00～7:00の間だけ自動的に本体の照明が暗くなる

OFF:暗くならない(初期値)

3 モード を5回押して時計表示に戻す

- ・時計表示に戻したとき設定が完了します。
- ・手順2の後、15秒以上なにも操作しなければ自動で時計表示に戻ります。

6 設定

自動洗浄開始時刻設定

自動洗浄の開始時刻を設定します

- 本体を使用しない時間帯に洗浄を開始するように設定してください。

1 モード を9回押して表示部の左側に を表示させる

現在の設定時刻が点滅表示されます。

例：深夜2時に自動洗浄開始

2 または を押して設定を選択する

- ・ 自動洗浄の開始時刻が1時間単位で設定できます。
- ・ 設定範囲は0(24:00)～23(23:00)です。
- ・ 初期値は2(2:00)です。



3 モード を4回押して時計表示に戻す

- ・ 時計表示に戻したとき設定が完了します。
- ・ 手順2の後、15秒以上なにも操作しなければ自動で時計表示に戻ります。

浄水カートリッジ使用期間設定

- 通常は設定変更しないでください。

1 モード を10回押して表示部の左側に を表示させる

現在の設定が点滅表示されます。

例：使用期限1.5年

2 または を押して設定を選択する

- ・ 期間は0.5年、1.0年、1.5年、2.0年、2.5年のいずれかを選択できます。
- ・  を選択すると使用期間を過ぎてもお知らせしません。
- ・ 初期値は1.5年です。



3 モード を3回押して時計表示に戻す

- ・ 時計表示に戻したとき設定が完了します。
- ・ 手順2の後、15秒以上なにも操作しなければ自動で時計表示に戻ります。

6 設定

浄水カートリッジ使用量設定

■通常は設定変更しないでください。

1 モード を11回押して表示部の左側に **!** を表示させる

現在の設定が点滅表示されます。

例：30トン通水したら浄水カートリッジの交換を知らせる



2 または を押して設定を選択する

・設定は5～50トンまで(5トン刻み)で選択できます。

・  を選択すると通水量が寿命に達してもお知らせしません。

・初期値は30トンです。

3 モード を2回押して時計表示に戻す

・時計表示に戻したとき設定が完了します。

・手順2の後、15秒以上なにも操作しなければ自動で時計表示に戻ります。

設定初期化

設定内容をリセットして初期値に戻します

■浄水カートリッジ使用期間設定と浄水カートリッジ使用量設定はリセットされません。

1 モード を12回押して を表示させる

現在の設定が点滅表示されます。

点滅

2 を押して を表示させる

 が5秒間点滅した後  が表示され、初期値に戻ります。

3 モード を1回押して時計表示に戻す

・時計表示に戻したとき設定が完了します。

・手順2の後、15秒以上なにも操作しなければ自動で時計表示に戻ります。

音量調節

生成水の通水音量や音声ガイド音量レベルを調節します

 を押すたびに音量レベルが  の順に切り替わります

電解水素水を生成しながら操作すると音量レベルの変化がわかりやすくなります。

7 お手入れ

自動洗浄

電解槽の電極洗浄

- 設定した時刻になると電解槽の電極を自動で洗浄し、電極に汚れが付着するのを予防します。
- 自動洗浄の開始時刻は変更できます。(初期値:毎日深夜2時 1日1回) (ページ32)
- 自動洗浄中は洗浄ランプが点滅します。
- 自動洗浄中に本製品を使用するときは洗浄スイッチを押してください。自動洗浄が停止し、その回の自動洗浄だけ30分後に再開します。
- 自動洗浄が終了した後、最初に通水するときは通水洗浄(すすぎ)を行いますので音声ガイドに従ってください。
 - ・ 通水洗浄中は音声ガイド「洗浄中です」が流れます。
 - ・ 終了すると音声ガイドが止まり、通常の使用が可能になります。
 - ・ 通水洗浄を中止したいときは洗浄スイッチを押してください。
- 自動洗浄にかかる時間は本体の使用頻度によって変わります。使用頻度が極端に少ない場合、または酸性水の生成頻度が高い場合は、設定時刻になっても自動洗浄を開始しないことがあります。
- 前回の自動洗浄または手動洗浄が終了してから、1度も電解水素水を生成していない場合、洗浄開始時刻になっても自動洗浄は開始しません。
- 電極にスケール汚れが付着している可能性がある場合は、専用の洗浄剤を使って内部洗浄をする必要があります。詳しいことは販売店までご連絡ください。(下記※参照)

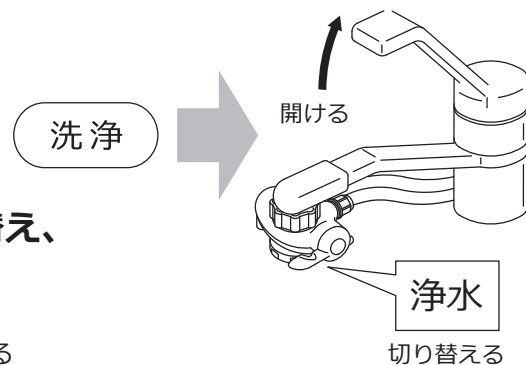
手動洗浄

電解槽の電極洗浄

- 電解槽の電極を任意に洗浄します。本製品には自動洗浄機能がありますが、水道水のカルシウム成分が多い硬度の高い水を使用されている場合は必要に応じて洗浄を行ってください。
- 洗浄を途中で中止したい場合はもう一度洗浄スイッチを押してください。
- 電極にスケール汚れが付着している可能性がある場合は、専用の洗浄剤を使って内部洗浄をする必要があります。詳しいことは販売店までご連絡ください。(下記※参照)

1 洗浄 を押す

- ・ 洗浄ランプが点滅します。
- ・ 表示部に「5.0L」が表示されます。
- ・ 音声ガイド「水を流してください」が流れます。



2 切替コックレバーを「浄水」に切り替え、蛇口を開けて通水を開始する

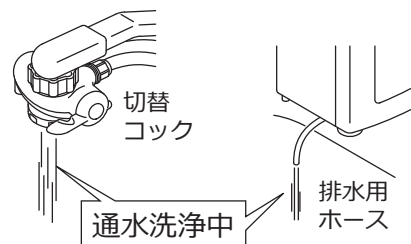
- ・ 切替コックと排水用ホースから水が出てきます。
- ・ 表示部に通水量がデジタル表示され、5.0L通水するまでカウントダウン表示します。



3 0.0L が点滅表示する

- ・ 通水量が「0.0L」になれば通水洗浄は終了です。
- ・ 音声ガイド「水を止めてください」が流れます。

4 蛇口を閉じて通水を停止する



⚠ 注意

洗浄中に吐水される水は使用できません。
そのまま排水してください。

※ 専用洗浄剤による電解槽の内部洗浄について

生成回数が増えてくると、原水に含まれるカルシウム成分がスケール汚れとなって電極などに付着し始めます。スケール汚れが付着すると上記の自動洗浄または手動洗浄を行っても汚れは落ちませんので、生成水の吐水量が少なくなったり電解水素水のpHが低下したり、本来の性能を維持できなくなります。半年から1年に1回程度は専用洗浄剤による電解槽の洗浄をお勧めします。詳しいことは販売店までご連絡ください。

7 お手入れ

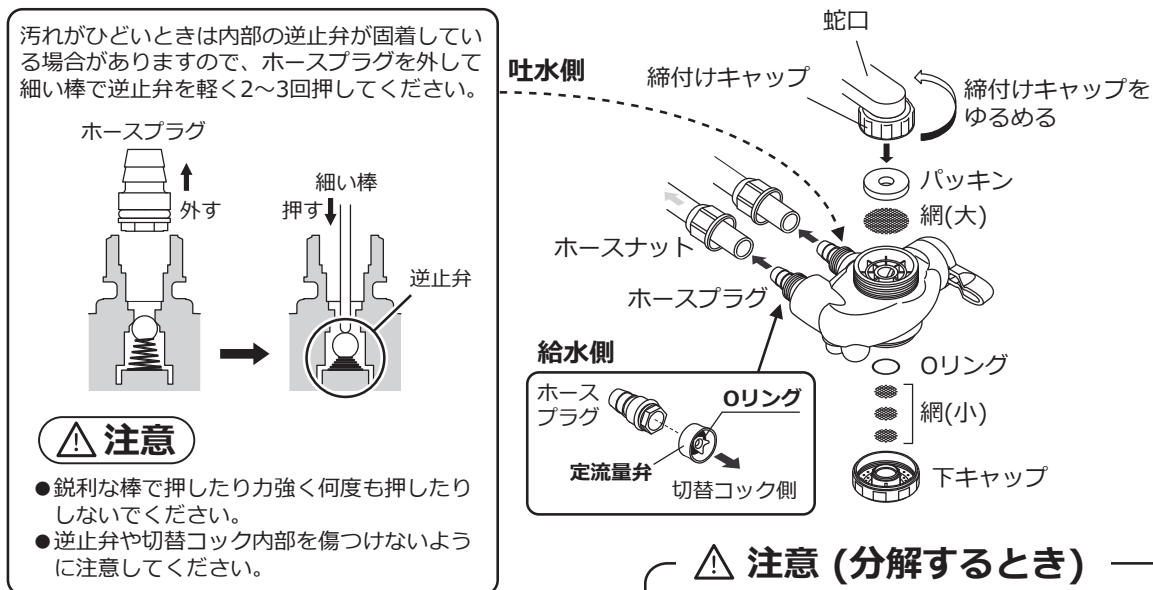
切替コックの洗浄

スケール汚れの除去

- 生成回数が増すにつれ、原水中のカルシウム成分や水道配管内の汚れが切替コック内部に付着してきます。
- 1～2か月に1回程度は下記の手順で切替コックの洗浄を行ってください。
- カルシウム洗浄剤のお買い求めは、本製品をお買い求めになった販売店までご連絡ください。

1 切替コックを蛇口から取り外し、切替コックを分解する。

締付けキャップをゆるめて蛇口から外し、ホースナットをゆるめてホースを外してください。

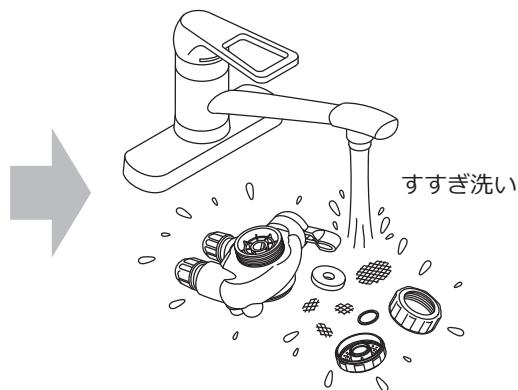


2 部品を洗浄する

- ・やわらかいブラシやスポンジで洗浄してください。
- ・白い固形分(カルシウム)が付着しているときは、別売のカルシウム洗浄剤に約10時間(一晚)浸けてください。
- ・カルシウム洗浄剤に浸けた後は水でよくすすいでください。

注意 (分解するとき)

給水側の定流量弁が外れたときは、上図のように定流量弁内部のOリングを切替コック側に向けて取り付け直してください。(Oリングの向きが違ったまま使用すると故障の原因になります)
また、分解するときはシンク内や洗面器など、大きめの容器内で注意しながら分解し、部品をなくさないように注意してください。



3 分解した切替コックを組み立てる

各部品の取り付け位置は上図の通りです。

4 切替コックを蛇口に取り付ける

水漏れしないように正しく取り付けてください。

お知らせ

切替コックを洗浄してもカルシウム固形分が生成水に交じる、または生成水の吐水量が少ない場合は、本体内部の配管にカルシウム固形分など、スケール汚れが蓄積していることが考えられます。この場合は別売の洗浄剤を使って本体内部の洗浄が必要です

7 お手入れ

日常のお手入れ

- 毎日または定期的に次のお手入れを行ってください。
 - ・本体や切替コック、ホースなどに汚れが目立つ場合は、中性洗剤を薄めた水を布に湿らせ、固く絞った布で汚れを拭き取ってください。本体に直接水や洗剤をかけないでください。
 - ・ベンジン、シンナーなど有機溶剤は使用しないでください。
 - ・電源プラグの汚れやほこりを定期的に掃除してください。

長期間使用しないとき

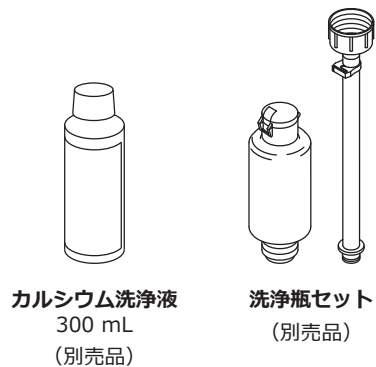
- 長期間使用しないときは以下のことに注意してください。
 - ・電源プラグをコンセントから抜く
 - ・切替コックを蛇口から外す
 - ・浄水カートリッジを本体から取り出す
 - ・本体内部、切替コック付ホースを洗浄して十分乾燥させた後、湿気のないところに保管してください。
- 再度、使用するときは以下のことに注意してください。
 - ・浄水カートリッジは新しいものを使用する
 - ・本体内部、切替コック付ホースを通水洗浄する
 - ・設置と準備(ページ10～16)に従って設置する

専用洗剤を使って内部洗浄する

- 半年から1年に1回を目安に、別売のカルシウム洗浄剤と洗浄瓶セットを使って本体内部の洗浄を行ってください。

電解水素水の生成回数が増えてくると原水に含まれるカルシウム成分がスケール汚れとなり、電解槽の電極などに付着し始めます。スケール汚れが付着すると内部洗浄機能(ページ34)を使っても汚れは落ちないため、電解水素水や浄水の吐水量が減ったり電解水素水のpHが低下したり、本来の性能を維持できなくなります。特に硬度の高い水質の地域では多量にスケール汚れが付着します。

半年から1年に1回を目安に別売のカルシウム洗浄剤と洗浄瓶セットを使って、内部洗浄することをお勧めします。詳しいことは販売店までご連絡ください。



8 便利機能

キッチンタイマー

調理時間の計測などにお使いください

- タイマーのカウントダウンが終了するとブザー音が鳴ります。
- タイマーをキャンセルしたいとき、またはブザー音を途中で止めたいときはキッチンタイマースイッチ、またはモードスイッチを押してください。
- タイマーがカウントダウン中でも電解水素水・浄水・酸性水は生成可能です。

1 キッチンタイマーを押してタイマー時間を選択する

スイッチを押すたびにタイマーが1分単位で加算表示します。
希望のタイマー時間を表示させてください。
設定範囲: ~ (分)

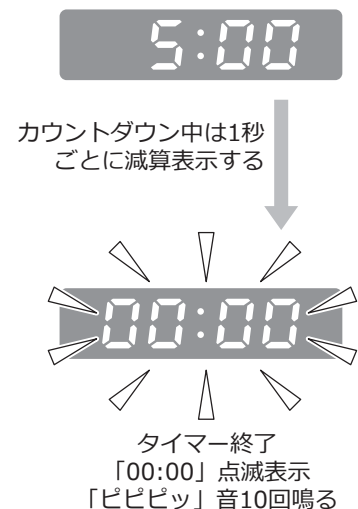
2 カウントダウン開始

- ・スイッチから指を離して2秒経過後、カウントダウンを開始します。
- ・カウントダウン中は1秒ごとに減算表示します。

3 タイマー終了

- ・ブザー音「ピピピッ」が10回鳴りながら「00:00」を点滅表示します。
- ・10回鳴った後は時計表示に戻ります。

例：タイマー5分の場合



エラー表示

- 表示部にエラーが表示されたときは音声ガイドに従ってください。
- エラー4は音声ガイドが流れません。蛇口を閉じて通水を止めてください。
- 復帰しないときは「アフターサービス(ページ40)」に従い、販売店までご連絡ください。

エラーメッセージ		原因	復帰方法
表示部	音声ガイド		
エラー1 	「一度水を止めてください」	連続15分以上電解を行った (定格時間超過)	蛇口を閉じて通水を止めてください。
エラー2 	「しばらく運転を止めてください」	電源トランスの温度プロテクターが作動した (120℃以上で作動)	温度プロテクターが復帰すると「ピッ」音が鳴り、エラー表示が消えます。
エラー3 	「水を流してください」	電解槽の温度異常を検知した (53℃以上で作動)	電解槽表面が53℃未満になると「ピッ」音が鳴り、エラー表示が消えます。
エラー4 	音声ガイドは流れません	電解電流が6A以上流れた (過電流)	蛇口を閉じて通水を止めてください。
エラー6  流量とエラーを交互に表示する	「水量を下げてください」	7.5L /min以上の通水流量が3秒以上続いたことによる、過流量が原因 (このとき電解は停止しない)	通水流量が7.5L /min未満になるように蛇口を絞ってください。未満になると「ピッ」音が鳴り、エラー表示が消えます。
エラー7 	「水を止めてください」 同時に「ピー」音が鳴る	食塩を添加した後、衛生水スイッチを押さずに通水した	通水を止めて衛生水スイッチを押してください。
エラー8 	「水を止めてください」	衛生水の生成に必要な電解電流が不足しています (食塩が添加されていない)	一度、通水を止めてください。衛生水を使用するときは食塩を添加してください。

故障かなと思ったら

- 修理を依頼する前に、下記に該当する現象はないか確認してください。
- 改善されない場合は「アフターサービス(ページ40)」に従い、販売店までご連絡ください。

No.	こんなとき	確認箇所・処置
1	表示部に何も表示しない	電源プラグはコンセントにしっかり差し込んでいますか。
2	生成水や浄水が吐水されない、または生成できない	・電源プラグはコンセントにしっかり差し込んでいますか。 ・水質選択スイッチを押していますか。 ・切替コックレバーは「浄水」に切り替えていますか。 ・蛇口は開けていますか。 ・飲用可能な高いpHを生成できないときは、付属のグリセロリン酸カルシウム(電解補助剤)を添加してください。(ページ18)
3	洗浄スイッチを押しても洗浄機能が働かない	・切替コックレバーを「浄水」に切り替えていますか。 ・蛇口を開けていますか。
4	吐水直後の電解水素水が白く濁っている	電解中に発生する微細な気泡が混じったものです。そのまま使用して問題ありません。気になる場合は電解水素水を容器に移し、透明になるのを待ってから使用してください。
5	電解水素水を容器に保存していると白い浮遊物が発生している	電解水素水のカルシウムイオンと空気中の炭酸ガスが反応して発生する炭酸カルシウムの結晶です。炭酸カルシウムは無害です。
6	電解水素水をボトルやヤカンに入れておくと内壁がはがれてきた	炭酸カルシウムの結晶が容器の内壁に付着することがあります。はがれに見えるものが炭酸カルシウムの結晶であれば無害です。
7	衛生水ボタンを押すとエラー音がして衛生水が生成できない	食塩カートリッジ(青色)が本体の添加口に挿入されていません。(ページ20～23)
8	表示画面のpH表示値がpH測定液を使った測定値と異なっている	pH表示を補正してください。(ページ29～30) 吐水のpHは原水の水質や水温に影響されます。
9	pH測定液を使用しても色が変化しない	・水質選択スイッチを押していますか。 ・切替コックレバーを「浄水」に切り替えていますか。 ・グリセロリン酸カルシウムは添加していますか。 ----- ・販売店にご連絡ください。 ・水道水のpHが低い場合、まれに変化しないことがあります。 ・地下水を原水にしている場合、水質の遊離炭酸の影響により変化しないことがあります。
10	電解水素水や浄水など、生成水の出が悪くなった	・蛇口を開ける量が少なすぎではありませんか。 ・水道が凍結していませんか。 ----- ・浄水カートリッジ使用量ランプ(左端)が赤色に点灯していませんか。赤色に点灯していれば浄水カートリッジの寿命です。新しい浄水カートリッジに交換してください。(ページ24～25) ・浄水カートリッジが寿命に達していなくても水質によっては除去能力が早く低下することにより、生成水の出が悪くなる場合があります。この場合も浄水カートリッジを新しいものに交換してください。(ページ24,26) ----- 原水に含まれるカルシウム成分などの汚れが、切替コック内部に付着している場合があります。1～2か月に1回程度、切替コックの洗浄を行ってください。(ページ35) ----- ・浄水カートリッジを交換しても吐水量が少ないままの場合、原水に含まれるカルシウム成分が結晶化して電解槽内に蓄積している可能性があります。この場合、専用の洗浄剤を使って電解槽の内部洗浄が必要です。詳しくは販売店までご連絡ください。 ・電解槽内のカルシウム付着を放置すると水漏れなど、故障の原因になる場合があります。

故障かなと思ったら

No.	こんなとき	確認箇所・処置
11	切替コックから水が漏れる	・切替コックはきちんと取り付けられていますか？（ページ11～12） ・正しい取り付け部品を使っていますか？ ・通水中に切替コックの安全弁から水が出る場合は、蛇口をゆるめて水量を減らしてください。安全弁は本体の故障防止のため、通水水圧が高くなったときなどに水圧を逃がす働きをします。故障ではありません。
12	本体から水が漏れる	・浄水カートリッジは正しく取り付けられていますか？ ・カルシウムキャップは正しく取り付けられていますか？ ・切替コック内部に汚れが詰まっていませんか？（ページ35） ・接続エルボにホースは正しく接続されていますか？（ページ13～14） ----- 電解槽内部に付着したカルシウム成分が蓄積すると、内部の部品に異常な水圧がかかり、水漏れを起こす場合があります。 カルシウム成分が付着している場合は洗浄剤を使って電解槽内部の洗浄が必要です。詳しくは販売店までご連絡ください。
13	電解水素水や浄水に、いやな臭いまたは味がする	浄水カートリッジの除去能力が低下しています。寿命に達していなくても新しい浄水カートリッジに交換してください。（ページ24,26） ----- 長期間使用しなかった後、または使用頻度が低い場合は切替コックや本体の内部配管に水アカまたはカビが発生することがあります。 この場合は内部配管の洗浄が必要です。詳しくは販売店までご連絡ください。
14	蛇口を開けて通水を開始すると本体から異音がする	通水流量を計測している内部の部品が動作しているとき、まれに動作音が聞こえることがありますが、故障ではありません。
15	生成中の通水音または音声ガイドが出なくなった	音量レベルの設定が無音または最小になっていませんか？（ページ33）
16	音声レベルを最大にしても、通水音または音声ガイドの音量が小さい	本体内部の水漏れにより、スピーカー部が浸水している可能性があります。販売店までご連絡ください。

10 アフターサービス

保証・修理依頼

■ 保証書

保証期間はご購入日より1年間です。内容をよくお確かめのうえ、大切に保管してください。

■ 修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら(ページ38～39)」に従って調べていただき、それでも改善されない場合はご購入の販売店にご連絡ください。

■ 保証期間中は

保証書の規定に基づき、ご購入の販売店が窓口となって修理をお受けいたします。ただし、保証期間中でも有料になる場合がありますので保証書をよくお読みください。

修理依頼時には以下の内容をご連絡ください

- ① ご氏名、住所、電話番号
- ② 製品名、型式(保証書または本体に表示)
- ③ 製造番号(保証書または本体に表示)
- ④ お買い上げ年月日
- ⑤ 保証書の有無
- ⑥ 故障、異常の詳しい内容

■ 保証期間が過ぎているときは

ご希望により有料にて修理させていただきます。

■ 補修用性能部品の保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切りから7年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

■ ご不明な点は

ご購入の販売店にお問い合わせください。

⚠ 注意

- 本製品は医療機器のため修理許可を取得した指定の作業所でしか修理できません。
- 修理または本体の内部洗浄をご依頼の場合、確認のために本体・ホース付き切替コック・使用中の浄水カートリッジを一緒にお送りください。
- 発送の際は各部品を十分に水抜きしてからビニール袋などに入れ、輸送時の水漏れを考慮した包装をしてください。

11 仕様

販売名	イオンガーデンV
型式	CI-5000H
定格電圧	AC100V
定格周波数	50-60Hz
定格入力電流	3.8A
pH	4～10（但し水質水温により変化あり） [飲用アルカリpH:9以上で10を超えない範囲]
カルシウム濃度増加率	30 % 以上（標準合成水 ^(注1) を使用時） [但し、付属のグリセロリン酸カルシウム添加時]
電解槽の電極寿命	1年以上（標準合成水 ^(注1) を使用時）
pH表示値の誤差	± 0.5
吐出水量	約 6.0 L /min (但し水圧により変化あり 吐出水と排水流量比 約2:1)
使用可能水道圧	0.05～0.5MPa
浄水カートリッジの寿命	残留塩素:約30トン (原水の残留塩素濃度を2ppmとして、処理後の濃度が0.4ppmになるまでの総通水量) 鉛:約15トン (原水の溶解性鉛濃度を50ppdとして、処理後の濃度が10ppdに達するまでの総通水量) ※ 寿命は使用水量、水質、水圧により異なります。
本体寸法	高さ345×幅238×奥行き156 (mm) 但し、突起物は含まない
製品質量	約 8 kg
医療機器承認番号	21600BZZ00652000
類別	機械器具 83 医療用物質生成器
医療機器の分類	管理医療機器
一般的名称	連続式電解水生成器
効果	電解水素水（陰極水） 飲用して慢性下痢・消化不良・胃腸内異常発酵・制酸・胃酸過多に有効 酸性水（陽極水） 弱酸性のアストリンゼント(化粧水)として美容に用いられる
製造販売元 製造元	コロナ工業株式会社 〒776-8555 徳島県吉野川市鴨島町上浦400-1 電話 0883-24-1155

(注1) 標準合成水:日本ホームヘルス機器協会で規定された電解性能試験用水

製品仕様は品質改善のため予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

[illegible]

[illegible]

